

創立百周年記念論文集 下巻

九州大学文学部紀要・叢書・図書委員会

<https://doi.org/10.15017/7358024>

出版情報：2025-03-31. School of Letters, Kyushu University
バージョン：
権利関係：



【研究ノート】

明代武臣による著作・刊本（表）

井 口 千 雪

筆者は近年、明代における武臣の文學活動が、文學史上どのような意義を持つのかを考察するために、明朝およそ二百七十年間にわたって、武臣による著作・刊本がどの程度存在するかを調査してきた。その総括と言える研究論文はすでに発表した所であるが⁽¹⁾、紙幅の関係上、全ての著作・刊本に言及することはできなかった。そこで、後人の研究考察に資することを期待して、調査結果を【表】に整理し、本稿に掲載することにする。

このたびの調査に用いた資料は、以下の通りである。

(i) 明人・清人による書籍目録

- ①明・高儒撰『百川書志』（馮惠民等選編『明代書目題跋叢刊』、書目文獻出版社、1994年）
- ②清・黃虞稷撰『千頃堂書目』（瞿鳳起・潘景鄭整理『千頃堂書目〔附索引〕』、上海古籍出版社、2001年）
- ③清・萬斯同撰『明史』「藝文志」（『續修四庫全書』第三二四～三三一冊、北京圖書館藏清鈔本）

(ii) 現代の目録學者による書籍目録

- ④杜信孚編纂輯『明代版刻綜錄』（江蘇廣陵古籍刻印社、1983年）

(iii) 明詩の総集に收められる小傳

- ⑤明末清初・錢謙益輯『列朝詩集小傳』（上海古籍出版社、1983年〔新一版〕）
- ⑥清・朱彝尊撰『明詩綜』（中華書局、2007年）

(iv) 史書・傳記資料

- ⑦清・張廷玉ら撰『明史』「藝文志」「列傳」など（中華書局排印本、1974年）

⑧明・焦竑編纂『國朝獻徵録』（臺灣學生書局、吳相湘主編中國史學叢書、1965年）

⑨臺灣中央圖書館編『明人傳記資料索引』（中華書局、1987年）

(v) その他明代関連文献（データベース）

⑩全國漢籍データベース／『四庫全書』／凱希メディアサービス『中國地方誌』・『四庫存目叢書（上）』・『續集四庫全書』・『明別集叢刊』・『明實録』など

①・②・④～⑥・⑨については、網羅的に、武官の著作・刊本の記録があるかどうかを調査した。⑦張廷玉『明史』・⑨『國朝獻徵録』については、現段階では、網羅的な調査には至っていない。⑩のデータベースは、必要に応じて検索機能を用いた。

〈【表】凡例〉

- 人名羅列の順序は、生年（生年不明の場合はおおまかな活動時期）に従う。
- 七十八人の武臣を列挙する。さらに、武官職を授かったという記録は見えないものの、顕著な文學活動が見られる武定侯郭氏の一門に属する郭鎮（駙馬都尉、【表】1）・郭鈺（贈定襄伯、【表】2）・郭武（尚寶司丞、【表】5）・郭晟（【表】20）も、参考（cf.）として加える。また、諸生の身ながら武官愈大猷の幕下に召され、武職である遊撃將軍を授かった陳第（【表】65）も参考として加える。
- 王驥（靖遠伯）・王越（威寧伯）・王守仁（新建伯）のように、文官の中にも武勳を立てて爵位に封ぜられた者が存在するが、本表には加えない。
- 「略歴」欄に記載する内容は以下の通りである。（ ）内には生没年を記す（不明の場合、おおまかな活動時期を記し、その根拠となる史料を以下に掲載する）。続いて、字・號・籍貫・家系を記す。／武職の履歴を記す。／顕著な功績がある場合は史料本文を抜粋する。／文學に関する事蹟の記載がある場合は、史料本文を抜粋する。
- 「著作・刊本書名」欄について。武臣本人による編輯・刊刻とみられる書籍のほか、後人による編輯・刊行とみられる書籍も、当該武臣の著作集と言え

るため、本表に加える。基本的には巻数も記すが、史料ごとに記載される巻数が異なる場合、および現存本の巻数がそれぞれ異なる場合は、本欄には巻数を記さない。但し、原刻本の巻数が明らかである場合には、巻数を記す。

○「書誌情報」欄に記載する内容は以下の通りである。

- ・「●」には、該当書籍が著録されている書籍目録・史料を掲載する。但し、紙幅に限りがあるため、②黄虞稷撰『千頃堂書目』と③萬斯同撰『明史』については、書名の後に解題が付されている場合を中心に記載する。また②黄虞稷撰『千頃堂書目』の記載と③萬斯同撰『明史』の記載はほぼ重複するため、内容に大きな異同が見られなければ、③萬斯同撰『明史』は省略する。現代の出版物である④『明代版刻綜録』・⑨『明人傳記資料索引』については、研究作業においては活用したが、【表】には本文を引用しない。
- ・「★」には、版本（原刻本・覆刻本・翻刻本を含む）・抄本が現存している場合、および叢書類に影印が収められている場合に、その情報を記す。但し、筆者が現段階で確認し得たものにとどまる。日本国外の蔵書の調査にはほとんど手が及んでいない。現存する版本の調査には、主に「全国漢籍データベース（日本所藏中文古籍數據庫）」（漢字情報研究センター）を利用したが、紙幅の関係上、検索結果の一部を抜粋して掲載するにとどめている。また、それらの原本のほとんどについて、現段階では筆者未見であり、情報の正確性にやや問題が残ることには留意されたい。

○本表は可能な限り舊字體で統一しているが、郭勛〔勳の古字〕（【表】34）の人名については、多くの史料で古字表記となっているため、本人があえてそちらを用いていた可能性を考慮して、古字表記を採用する。

注

- (1) 拙論「明代武臣の文學活動、その背景」（『中國文學論集』第53號、73～110頁、九州大學中國文學會、2024年12月）。

※本稿は令和六年度科學研究費助成事業・若手研究・課題番號JP18K12310の研究成果の一部である。

【表】明代武官による著作・刊本

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
1 cf. 郭鎮	(?-1399) 臨淮人。武定侯郭英之嫡長子。／駙馬都尉(配太祖十二皇女永嘉後主)。／「好學工詩」(明・方孝孺撰「駙馬都尉郭公贍誌」〔「遜志齋集」卷二十二「碑表志」〕)。 「親賢集」一卷	●明・高儒撰「百川書志」卷十六「集、國朝」 「芸閣稿」六卷、贈武定侯臨淮郭珍化重著。附駙馬郭鎮「親賢集」一卷。
2 cf. 郭鈺	(?-1403) 字景南、臨淮人。武定侯郭英之第八子、定襄伯郭登之父。／贈定襄伯。／「年十三、作「憫農詩」、『大旱爲霖賦』、傳播都下。太祖召見、敷對詳明、極眷愛之。與李曹公景隆・王駙馬寧、倡和爲詩。方孝孺尤器重其人」(清・錢謙益輯「列朝詩集」乙集「郭定襄登 附見贈定襄鈺」)。 「定襄集」四卷	●明・高儒撰「百川書志」卷十六「集、國朝」 「定襄集」四卷。贈定襄伯臨淮郭鈺〔井口注：鈺の誤〕景南著。二百二首。
3 沐昂	(1379-1445) 字景高・景頤、鳳陽定遠人。黔國公沐英之子。／府軍左衛指揮僉事、都指揮同知、領雲南都司、累遷至右都督、贈定邊伯。／「思任發入寇、擊卻之、又捕斬師宗反者」(「明史」卷一二六「列傳十四、沐英〔附昂〕」)。 「素軒集」(=「素軒詩」?) 十二卷	●清・錢謙益輯「列朝詩集」乙集「沐定邊昂」 所著有「素軒集」。 ●清・朱彝尊編「明詩綜」卷十七「沐昂一首」 有「素軒集」。 ●清・萬斯同撰「明史」卷一三七「藝文五、集部下、別集類」 沐昂「素軒集」十二卷。黔寧王第三子。鎮守雲南總兵官、左都督、贈定邊伯、諡武襄。 ●清・范邦甸撰「天一閣書目」卷四之二「集部、別集類」 「三軒詩集」。刊本。○明左都督總兵雲南定邊武襄伯沐昂著「素軒詩」十二卷・錦衣副千戶沐偉著「敬軒詩」四卷・右都督總兵雲南沐璘著「繼軒詩」十二卷。裔孫黔國公沐崑重刊。嘉靖三年滇撫黃巖王啓序曰、「沐氏起自昭靖武襄佐太祖、太宗繼世、上公。所謂「三軒」者、則素軒・敬軒・繼軒也。各有詩行于世。頃者故黔國公諱崑重梓、未就。厥嗣篤菴、字世貞、始成厥志。今襲黔國篤菴、又能益武而文。予叨撫滇南、得與菴菴朝夕聚、而獲觀其所爲「三軒集」者、顧不幸與。」又有燕泉何孟春序・武林平叔後序。 ★「續修四庫全書」第一三二九冊「素軒集」十二卷 明 沐昂 撰 南京圖書館藏 明刊本
	「滄海遺珠集」四卷	●明・高儒撰「百川書志」卷十九「集、總集」 「滄海遺珠集」四卷。皇明都督沐景頤選集。皆諸選所遺得二十一人詩。二百餘首。 ●清・錢謙益輯「列朝詩集」乙集「沐定邊昂」 管轄國初名士官於滇南及謫戍之詩、爲「滄海遺珠集」。 ●清・朱彝尊編「明詩綜」卷十七「沐昂一首」 「詩話」、定邊平麓川之寇、威著西南、而能以餘暇、留情文詠、輯明初名下士官於滇及謫戍者、自郝仲經以下二十一家。詩凡二百五十首目、曰「滄海遺珠」。 ★「欽定四庫全書」第一三七二冊 集部 第三一一「滄海遺珠」四卷 明 沐昂 撰 ★安徽圖書館藏 明成化十三年(1477) 重刊本が現存(王寶平「明代雲南に残した日本人の漢詩(その1)『滄海遺珠』書誌學研究」〔「日本漢文學研究」第五號、二四六～二二二頁、2010年3月〕)
4 郭珍	(1393-1447) 小字應能、字伯重、號理齋。武定侯郭英之嫡孫。／錦衣衛指揮僉事、贈武定侯。／「篤好經史、讀書數行俱下、日記千言、終身不忘。爲詩文、長篇短章、下筆輒就」、「平生樂與文人韻士交特〔待〕」、(明・魏驥撰「故明威將軍南京錦衣衛指揮僉事郭公墓誌銘」〔明・郭良／郭勛纂「毓慶動鑑集」卷八「墓誌」〕)。 「芸閣稿」六卷	●明・高儒撰「百川書志」卷十六「集、國朝」 「芸閣稿」六卷、贈武定侯臨淮郭珍化重著。附駙馬郭鎮「親賢集」一卷。
	「賓竹詩餘」一卷	●明・高儒撰「百川書志」卷十八「集、歌詞」 「賓竹詩餘」一卷、皇明武定侯郭珍著。
5 cf. 郭武	(1398-1440) 字靈隆。武定侯郭英之孫、定襄伯郭登之長兄。／尚寶司丞。／「仁宗召試以詩、援筆立就、稱旨。力學不倦、以古人自期」(清・錢謙益輯「列朝詩集」乙集「郭定襄登 附見郭尚寶武」)。 「尚寶集」八卷	●明・高儒撰「百川書志」卷十六「集、國朝」 「尚寶集」八卷。尚寶司丞郭武靈隆述。
6 吳庸	(?-1410) 太平府蕪湖人。／後軍都督僉事。／「庸嘗以武臣子入太學、讀書通大義、屢試武藝、皆出同輩右」(「太實錄」卷一〇八「永樂八年九月」丙子)。	

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
	『忠義直言』二卷	●明・高儒撰『百川書志』卷四『史、故事』 『忠義直言』二卷、皇明後軍都督驃騎將軍太守吳庸編著。周秦漢唐宋元、名臣・義士・節婦并畜類、分爲十日、總百條。直言不文、使人易入。
7 袁彬	(1401-1477) 字文質、江西新昌人。／歴官錦衣校尉、錦衣武百戶、指揮僉事、同知、指揮使、都指揮僉事、都指揮同知、都指揮使、前軍都督府都督僉事。／「正統末、以錦衣校尉扈帝北征」（『明史』卷一六七「列傳五十五、袁彬」）。 『北征事蹟』一卷	●『明史』卷九十七「志七十三、藝文二、史類、雜史類」 袁彬『北征事蹟』一卷。 ★『四庫全書存目叢書』史部 第四十六冊『北征事蹟』一卷 首都圖書館藏 明嘉靖吳郡袁氏嘉趣堂刻金聲玉振集本
8 郭登	(1403-1472) 字元登、一字康濟、號介菴、臨淮人。武定侯郭英之庶孫。／錦衣衛指揮僉事、署都指揮僉事、都督僉事、充參將、都督同知、充總兵官、右都督、封定襄伯、掌南京中軍都督府事。／「正統中、從王驥征麓川有功、擢錦衣衛指揮僉事。又從沐斌征騰衝、遷署都指揮僉事。十四年、車駕北征、扈從至大同、超拜都督僉事、充參將」、「又做古製造偏箱車・四輪車」（『明史』卷一七三「列傳六十一、郭登」）。／「博聞強記、善議論、好談兵」、「爲將兼智勇」（同上『明史』）。『國朝武臣能詩者、莫過定襄伯郭元登』（明・李東陽撰『麓堂詩話』）。 『定襄詠物詩』一卷	●明・高儒撰『百川書志』卷二十『集、別集』 『定襄詠物詩』一卷。皇明定襄伯臨淮郭登著。七言絕句百二十五首。
	『春秋左傳直解』十二卷	●明・彭時撰『定襄忠武侯神道碑』（明・郭良／郭勛纂『毓慶勳懿集』卷七『碑文』） 其着〔井口注：著の誤〕述有『春秋左傳直解』若干卷・『聯珠集』二十二卷・『獨言集』四卷・『南征集』四卷・『投壺新譜』一卷・『玉帳餘談』四卷・『家史』四卷・『奏議』二十卷・雜着〔井口注：著の誤〕一帙、藏于家。 ●『明史』卷九十六「志七十二、藝文一、經類、春秋類」 郭登『春秋左傳直解』十二卷。 ●清・朱彝尊撰『經義考』卷二〇〇 『郭氏登』春秋左傳直解』十二卷。未見。□曰、登字元登、武定侯英諸孫。土木之難、以都督僉事、守大同也。先部擁上皇至城下、登陣卻之。景泰開、進封定襄伯、上皇復辟、論成甘肅。成化初、復爵。卒贈侯、諡忠武。陸元輔曰、定襄以名將解左傳遠、與杜武庫爭衡。
	『（郭氏）聯珠集』十卷	●同上（『毓慶勳懿集』） ●明・高儒撰『百川書志』卷十六『集、國朝』 『聯珠集』十卷。榮祿大夫定襄伯郭登元登述。 ●『明史』卷九十九「志七十五、藝文四、集類、別集類」 郭登『聯珠集』二十二卷。景泰初、登封定襄伯、有詩名。是集以其父珥兄武之作、與登詩合編。 ●清・錢謙益輯『朝朝詩集』乙集『郭定襄登』 有『聯珠集』、行於世。『聯珠集』者、公自錄其詩、而先之以其父鈺暨其兄武之作、凡二十二卷。 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷二十「郭登十二首」 有『聯珠集』。 ●清・萬斯同撰『明史』卷一三七「藝文五、集部下、總集類」 郭武定『聯珠集』三十二卷。郭良・郭鈺・郭武・郭登。 ★寧波・天一閣文物保管所に原刊本が現存。
	『獨言集』四卷	●同上（『毓慶勳懿集』）
	『南征集』四卷	●同上（『毓慶勳懿集』）
	『投壺新譜』一卷	●同上（『毓慶勳懿集』）
	『玉帳餘談』四卷	●同上（『毓慶勳懿集』）
	『郭氏家傳』（＝『家史』？）四卷・『續傳』一卷	●同上（『毓慶勳懿集』） ●明・高儒撰『百川書志』卷六「史、譜牒」 『郭氏家傳』四卷・『續傳』一卷。大明功臣武定侯・定襄伯二勳之家傳也。
	『奏議』二十卷	●同上（『毓慶勳懿集』）
	『郭定襄伯集』一卷	●明・俞憲撰『盛明百家詩後編』第四十七冊『郭定襄伯集』一卷 明 郭登 撰
	『郭定襄忠武侯奏疏』	●明・陳子龍輯『皇明經世文編』卷五十七『郭定襄忠武侯奏疏』明 郭登 撰
9 謝德環	(永樂～景泰年間?) 字庭【一作廷】循、永嘉人。／錦衣衛百戶、千戶、指揮僉事（画家）。／「永樂中召至京師。宣德間徵入畫院、大被寵遇」、「景泰三年（1452）陞授錦衣衛指揮僉事、歷事五朝、年七十六卒」（清・張寶琳修／王榮等纂『光緒』永嘉縣誌〔清光緒八年刊本〕卷十八「人物志六、藝術、謝廷循」）。／	

名 前	略 歷	
	著作・刊本書名	書誌情報
	<p>「山水爲同事所宗、東里楊少師稱其清謹有文。尤精繪事、是以獨見重於宣廟、非臣所及」(明・韓昂撰『圖繪寶鑑續編』「明」)。</p> <p>『夢吟堂集』</p>	<p>●清・陳田輯『明詩紀事』乙籤卷六「謝庭循一首」有『夢吟堂集』。</p>
	『靜樂軒詩』一卷	<p>●明・金幼孜撰『靜樂軒詩序』(『金文靖集』卷七「序」)</p> <p>永嘉有一士曰謝庭循、嘗以靜樂名其軒。士大夫與之游者、皆爲賦靜樂之詩、長篇短章、萃爲一卷。</p>
10 陳文	<p>(1424-1494) 字彥章、號朴菴、更號半陶、長興人。／年十六襲授金吾右衛指揮同知、調浙江溫州衛、浙江都指揮僉事、總督兩浙漕運。／「公平生俸資儀、雅言動、善騎射、讀儒文、洞達古兵法」(明・張寧撰『昭勇將軍浙江都指揮僉事陳公神道碑』(『方洲集』卷二十三))。</p> <p>『朴庵歸休稿』</p>	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十「別集類、成化」</p> <p>陳文『朴庵歸休稿』。長興人、溫州衛指揮同知。以征閩功、升浙江都指揮僉事。成化初、總督兩浙漕運。</p>
11 王清	<p>(?-1449?) 字一寧、合肥人。／世襲濟寧衛指揮、陞廣東都指揮使。</p> <p>『文通集』八卷</p>	<p>●明・焦竑輯『國史經籍志』卷五「集類、別集」</p> <p>王一寧『文通集』八卷。</p> <p>●清・錢謙益輯『列朝詩集』丙集「王揮使清」</p> <p>有『文通集』八卷。</p>
	『建藁集』二卷	<p>●清・朱彝尊編『明詩綜』卷二十四「王清一首」</p> <p>有『建藁集』。</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十九「別集類、正統」</p> <p>王清『建藁集』二卷。字一寧、合肥人。世襲臨清衛指揮、升廣東都指揮使。死於黃蕭養之難。</p>
12 畢恭	<p>(?-1449?) 山東人。／遼東定遼衛百戶、指揮僉事、署都指揮僉事、都指揮僉事、都指揮僉事。／「有文武才。由百戶歷官指揮僉事、圖上方略、官署都指揮僉事、掌都司印。撫士卒、革奸弊、廣屯田、興學校、政平訟理、所至稱之」(清・劉源傳／孫成修／范勳纂『(康熙)錦州府志』[清康熙二十一年修據民國二十三年鉛印『遼海叢書』本]卷九「人物志、宦蹟」)。 ※『英宗實錄』卷七(宣德十年[1435]秋七月)癸巳一卷一七八(正統十四年[1449]五月)甲申上事蹟。</p> <p>『遼東志』九卷</p>	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷六「地理類上」</p> <p>畢恭『遼東志』九卷。山東人。遼東指揮。正統八年修、弘治中摠[井口注：總的誤]兵輯斌重修。※四庫全書本是「王祥・畢恭『遼東志』九卷。正統間修」。</p> <p>★『續修四庫全書』第六四六冊『遼東志』九卷 明畢恭等修 明任洛等重修 天津圖書館藏嘉靖中刊本</p>
	『邊城吟稿』	<p>●清・劉源傳／孫成修／范勳纂『(康熙)錦州府志』(清康熙二十一年修據民國二十三年鉛印『遼海叢書』本)卷九「人物志、宦蹟」</p> <p>畢恭、前屯衛人。…著有『邊城吟稿』。</p>
13 周正	<p>(正統年間?) 字元貞、號與石、大河衛人。周瓚之子。／襲大河衛指揮僉事、陞運糧把總、擢指揮同知、守備歸德、兼管武平等處。／「少喜讀書、負大志、選克郡學弟子員、應舉未就、以廩襲大河衛指揮僉事」(明・潘垣撰『錦衣衛都指揮周公瓚傳』(明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一〇九))。 ※『英宗實錄』卷二十三(正統元年[1436]冬十月)壬申上事蹟。</p> <p>『皇極經緯』</p>	<p>●明・潘垣撰『錦衣衛都指揮周公瓚傳』(明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一〇九)</p> <p>所著有『皇極經緯』·「六壬秘」并『集古奇方』諸書、藏于巾笥、未行。</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十一「儒家類」</p> <p>周正『皇極經緯』。淮安大河衛指揮僉事。</p>
	『六壬秘』	●同上(『國朝獻徵錄』)
	『集古奇方』	<p>●同上(『國朝獻徵錄』)</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十四「醫家類」</p> <p>周正『集古奇方』。淮安人。大河衛指揮僉事。</p>
14 沐信	<p>(正統～景泰年間) 字可怡。／贈定邊伯沐昂之子、沐璘・沐瓚之父。／南京錦衣衛副千戶。 ※清・錢謙益輯『列朝詩集』乙集「沐定邊昂 附見沐信」以小傳。『英宗實錄』卷二一六(景泰三年[1452]五月)癸巳、命故南京錦衣衛副千戶沐信季子瓚襲職。從其兄總兵官都督璘奏請也。</p> <p>『□□集』二卷</p>	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十九「別集類、景泰辛未科二年」</p> <p>沐信『□□集』二卷。昂子。南京錦衣衛千戶、贈都督同知。</p>
	『敬軒詩』四卷	<p>●清・范邦甸撰『天一閣書目』卷四之二「集部、別集類」</p> <p>「三軒詩集」。刊本。○明左都督總兵雲南定邊武襄伯沐昂著『素軒詩』十二卷・錦衣副千戶沐信著『敬軒詩』四卷・右都督總兵雲南沐璘著『繼軒詩』十二卷。裔孫黔國公沐崑重刊。 ※全文は『表』3「沐昂」の項参照。</p>

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
15 沐璘	(?-1458) / 字廷章、號東樓居士。贈定邊伯沐昂之孫、沐偉之子。／藤父職爲雲南左衛指揮僉事、陞雲南都司都指揮僉事、陞都督同知、佩征南將軍印、充總兵官鎮守雲南、陞右都督。／「喜讀書、平居恂恂、若儒生」、「日披誦、探討其上、作爲詩文、繪畫亦可觀」、「人方之古儒將士云」〔《英宗實錄》卷二十九（天順二年六月）乙丑〕。	●清・錢謙益輯『列朝詩集』乙集「沐定邊昂 附見沐璘」有『繼軒集』。 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷十九下「沐璘三首」有集。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十九「別集類、景泰辛未科」沐璘『繼軒集』三卷。字廷章。僞子。鎮守雲南總兵、官都督同知、贈右軍都督、特進榮祿大夫。 ●清・范邦甸撰『天一閣書目』卷四之二「集部、別集類」『三軒詩集』。刊本。○明左都督總兵雲南定邊武襄伯沐昂著『素軒詩』十二卷・錦衣副千戶沐偉著『敬軒詩』四卷・右都督總兵雲南沐璘著『繼軒詩』十二卷。裔孫黔國公沐崑重刊。 ※全文は【表】3「沐昂」の項参照。
16 蔣琬	(1432-1486) 字重器、號筠清、江都人。定西侯蔣貴之孫。／年十六嗣爵定西侯、掌左軍都督府事、佩平羌將軍印、總兵甘肅、督十二團營、兼總神機營兵、累加太保兼太子太傅。／（蔣貴）子義、病不能嗣、以義子琬嗣侯」（『明史』卷一五五「列傳四十三、蔣貴・孫琬」）。／「公暇即臨帖賦詩以自適。賓客過、從觴酌、竟日盡歡。乃已而公之詩宗盛唐、書法魏晉、可與文人韻士相長雄」、「有聲一時、庶幾古儒將之風」（明・程敏政撰『太保兼太子太傅掌左軍都督府事定西侯追封涼國公諡敏毅蔣公墓誌銘』〔『篋墩文集』卷四十四「誌碣」〕）。	●明・程敏政撰『太保兼太子太傅掌左軍都督府事定西侯追封涼國公諡敏毅蔣公墓誌銘』〔『篋墩文集』卷四十四「誌碣」〕公諡碑、字重器。…所著『筠清軒集』十卷・『奏議』二卷・『雜文』一卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十「別集類、成化」蔣琬『筠清軒集』十卷。又『雜文』一卷。字□□、□□【一作江都】人。太保兼太子太保、定西侯、追封涼國公、諡襄毅。
	『筠清軒集』十卷	●同上〔『篋墩文集』〕
	『奏議』二卷	●同上〔『篋墩文集』〕
	『雜文』一卷	●同上〔『篋墩文集』・『千頃堂書目』〕
17 湯胤勳 〔續〕	(?-1466) 字公讓、濠梁人。東甌襄武王湯和之曾孫。／錦衣衛百戶、千戶、忠義前衛署指揮僉事、充右參將。／「爲諸生、工詩、負才使氣」（『明史』卷一六「列傳十四、湯和〔附胤勳〕」）。〔年十五、入學爲生徒、日記數萬言、學有舊版本千餘字。胤勳驕馬、過一曰成誦。應天尹下學傳壽召諸生。胤勳獨後至、當筓、大呼折尹、聲撼庭木。尹愧憤、卒筓之。胤勳攜袂、走出學門、題詩府署合屏上、有「從今袖卻經綸手、且向江頭理釣絲」之句。遂去學、出遊江湖上、凡吳越間豪家富室、爭延致之。周文襄公、轉運江南、聞其名、召之。至曰、「王孫能作啓事否？」胤勳請紙筆、即席具狀幾萬言、類宿掃者、皆切當世務。文襄奇之、上書薦其才有文武具。驛召赴京。時于少保方督諸軍、請試之、立胤勳將臺下、萬卒環視、于公摘古今將略及諸事、舉以問。胤勳應對如洪鐘、不能屈。左右嘖嘖嘆賞。于公亦撫臺曰、「吾子誠有才。」入對、以爲錦衣衛百戶、「時典兵者、多忌胤勳不令治事。胤勳亦時時嘆息、其功名不偶、放浪詩酒間。京師人率以爲狂。所與游最善者、侍講徐有貞・教授馮益・太醫劉溥」、「每就人席上、操觚立成數十章。有名能詩者、多爲其所懣、或不能指一語」（明・程敏政撰『湯胤勳傳』〔明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷五〕）。〔先是留守中衛指揮賈浩薦胤勳元勳世胄、有文武才、可充大將。詔令兵部會總兵官考驗之。會昌侯孫繼宗等稱、其讀書明理、精通方略、誠如所薦、使之獨當一面、必能展其所蘊』（《憲宗實錄》卷二十七〔成化二年三月〕丁卯〕）。	●清・錢謙益輯『列朝詩集』乙集「湯參將胤勳〔ママ〕」詩文盈卷軸、互見『東軒集』及譜牒中、謹節而錄之、庶幾吾家故事亦附以不朽焉。
	『東軒集』	●清・錢謙益輯『列朝詩集』乙集「湯參將胤勳〔ママ〕」詩文盈卷軸、互見『東軒集』及譜牒中、謹節而錄之、庶幾吾家故事亦附以不朽焉。
	『東谷集』	●明・程敏政撰『湯胤勳傳』（明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷五）有『五雲清唱』・『風雅遺音』・『東谷集』千餘卷。 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷二十一「湯胤勳二首」有『東谷集』。
	『東谷遺稿』十三卷	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十九「別集類、景泰」楊〔井口注：湯の誤〕胤勳【一作勳】『東谷遺稿』十三卷。字公讓、東甌襄武王曾孫、授錦衣百戶、轉千戶。景泰中命通問上皇歸、進指揮僉事。成化初以參將守延綏戰歿。會昌侯孫繼宗序。胤勳所著有『五雲清唱』・『風雅遺音』・『蛙池鼓吹』・『六體香奩』諸集、皆佚。 ●明・程敏政撰『東谷遺稿序』（『篋墩文集』卷二十二「序」）東谷君死西事之又明年、余從其壻錦衣指揮使孫璉、求其平生之稿、得所謂『五雲漫稿』・『風雅遺音』・『蛙池鼓吹』・『演雅秋聲』・『東谷集』者、若干峽、大抵皆零落之本也。

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
	<p>『五雲清唱』(=『五雲漫稿』?)</p> <p>『風雅遺音』</p> <p>『蛙池鼓吹』</p> <p>『六體香廬』</p> <p>『演雅秋聲』</p>	<p>●同上(『國朝獻徵錄』・『千頃堂書目』・『篋墩文集』)</p> <p>●同上(『國朝獻徵錄』・『千頃堂書目』・『篋墩文集』)</p> <p>●同上(『千頃堂書目』・『篋墩文集』)</p> <p>●同上(『千頃堂書目』)</p> <p>●同上(『篋墩文集』)</p>
18: 趙輔	<p>(?-1467) 字良佐、鳳陽人。／襲職指揮使、爲都督同知征夷將軍、平兩廣蠻封武靖伯、旋總兵、征迪東有功、封武鄉侯。／「輔少俊辯有才」(『明史』卷一五五「列傳四十三、趙輔」)。「讀書通大略、善詞翰、喜交文士、故用薦起」、「近時武臣兼文事者、定襄伯郭登之後、輔亦可稱」(『憲宗實錄』卷二七九「成化二十二年六月」丙戌)。 ※清・錢謙益輯『列朝詩集』丙集「趙武靖輔」に小傳。</p> <p>『平夷賦』一卷</p> <p>『平夷錄』一卷</p>	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷五「別史類」趙輔『平夷錄』一卷。又『平夷賦』一卷。</p> <p>★明・沈節甫纂輯『紀錄彙編』卷三十九 收錄</p> <p>●同上(『千頃堂書目』)</p> <p>★『百部叢書集成』六「今獻彙言」『平夷錄』一卷 明 趙輔 撰</p> <p>★『續修四庫全書』第一一九〇冊『說郛續寫』第十一「平夷錄」一卷 明 趙輔 撰</p>
19: 王璽	<p>(?-1488) 永平人。／襲山西太原左衛指揮同知、成化間以戰功累進都指揮同知、平羌將軍、充總兵鎮寧夏・甘肅及大同、授都督同知。／「璽習韜略、諳文事、勇而有謀。廷臣多稱之。在邊二十餘年、爲番人所憚」(『明史』卷一七四「列傳六十二、王璽」)。</p> <p>『醫林集要』八十八卷(=『新刊官本類證醫林集要』二十卷・『醫林類證集要』十卷?)</p>	<p>●明・高儒撰『百川書志』卷十「子、兵家」</p> <p>『醫林集要』八十八卷。皇明甘肅總兵平羌將軍都督孤竹王璽集。即八十八門。</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十四「醫家類」</p> <p>王璽『醫林集要』八十八卷。永平人。鎮守甘肅、平羌將軍總兵官。</p> <p>★漢籍データベース</p> <p>①『新刊官本類證醫林集要』二十卷 明 王璽 明嘉靖八年刊 劉氏日新堂 公文書館</p> <p>②『醫林類證集要』十卷 明 王璽 江戸刊 東北大</p>
20: cf. 郭晟	<p>(天順年間?) 鳳陽人。武定侯郭英裔孫。 ※成安侯郭晟(?-1458、安徽合肥人、郭亮之子)とは別人か。</p> <p>『家塾事親』五卷</p>	<p>●明・高儒撰『百川書志』卷十「子、醫家」</p> <p>『家塾事親』五卷。皇明北平郭晟著。</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十四「醫家類」</p> <p>郭晟『家塾事親』五卷。鳳陽人。武定侯郭英裔孫。天順庚辰(四年、1460)李賢序。</p>
21: 汪福	<p>(天順年間?) 滁州衛指揮。 ※『英宗實錄』卷三四三(天順六年[1462]八月)癸亥に「都督同知汪福」の事蹟が見えるが、同一人物か不明。</p> <p>『隴西汪氏世譜』</p>	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十「譜系類」</p> <p>汪福『隴西汪氏世譜』。滁州衛指揮。</p>
22: 吳綬	<p>(成化年間) 字孟章、安徽滁州人。／錦衣衛副千戶、錦衣衛千戶、錦衣衛指揮。／「太監懷恩傳奉聖旨、錦衣衛副千戶吳綬、令於鎮撫司、同林檎問刑、千戶楊瑛仍還本所治事。綬貌陋而心險、頗通文移、善詞翰。時西廠雖革、上猶密召汪直察外間動靜、且令訪能文事者以爲之輔。有一軍卒、報直云「錦衣千戶吳綬、其人能寫、本通行移。」直遂召至、令擬三批咨封進稱旨、遂有是命。綬後以銀壹一謝其薦己者云」(『憲宗實錄』卷一六六「成化十三年五月」辛卯)。「嚴文武官乘輪之禁。太監汪直言、「洪武永樂間、人臣無敢乘輪者。正統時、文官年老、或乘肩輿。景泰以來師保既多、延至於今、兩京五品以上、無不乘輪者。文職三品、年六十以上可許、武職宜一切禁止。」從之。本稿吳綬所撰也。是時都御史王越・尚書尹旻、及戴籍・吳綬、皆爲直心腹」(『憲宗實錄』卷一七二「成化十三年十一月」丙寅)。「兵部尚書余子俊等議上武學科條。時太監汪直用事、欲以建白爲名、然素不知書、附之者多、爲作奏草。至是吳綬爲撰草奏、請武學設科、鄉試・會試・殿試、欲悉如進士恩例」(『憲宗實錄』卷一七八「成化十四年五月」己卯)。「博學工詩、雅好復古」(明・王慎撰『思文軒集』卷八「詩壇叢韻序」)。</p> <p>『詩壇叢韻』二十八卷</p>	<p>●明・王慎撰『詩壇叢韻序』(『思文軒集』卷八) 今僉錦衣衛事滁陽吳君孟章、博學工詩、雅好復古、乃於職務之暇、纂成一書、名曰『詩壇叢韻』。</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十五「類書類」</p> <p>吳綬『詩壇叢韻』二十八卷。字孟章。成化間錦衣指揮僉事。滁州人。程量敬爲之序。</p> <p>※『千頃堂書目』卷三「小學類」にも著録されるが、解題は無し。</p>
23: 陶輔	<p>(1441?-1523以降没) 字廷弼、號夕川・安理齋・海萍道人。／襲應天衛指揮。／「蓋公之先人、以大功烈擢大同伯、公以貴遊子、薄武藝而不事、專志於經史翰墨間、其蓄之深固有自矣。暨應天親衛衛勇之</p>	

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
	爵、又不苟合於時、即丐恩休致、尋山甌水、以豁其趣。操觚染翰、以肆其博。尚友古人、樂觀時變、以極其情。少有餘暇、而作是集、抑亦嘲弄風月之一睡耳。其他述作、尚多傳於時者」（明・張孟敬撰「花影集序」）。	
	『花影集』四卷	●明・高儒撰『百川書志』卷六「史、小史」 「花影集」四卷。致仕應天衛指揮事夕川老人陶輔廷弼著。凡二十篇。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十二「小說類」 陶輔「桑榆漫筆」一卷。又『花影集』四卷。號夕川老人、應天衛指揮僉事。 ★漢籍データベース 早稲田大學 中央圖書館 中央-4F 特別資料室-貴重書庫 へ21 01235 1-2
	『桑榆漫志』一巻	●明・高儒撰『百川書志』卷八「子、小説家」 「桑榆漫志」一卷。皇明夕川老人陶輔八十時所著。凡五十二則。 ●同上（『千頃堂書目』） ★『續修四庫全書』第一一九〇冊『說郛續寫』第十九『桑榆漫志』一卷 明 陶輔 撰
	『四端通俗詩詞』一巻	●明・高儒撰『百川書志』卷八「子、小説類家」 「四端通俗詩詞」一卷。明致政指揮鳳陽陶輔廷弼著。凡十六日、詩詞四十八首、以解勸儉・富貴・驕奢・貧賤之四端。并陳圖說。 ※同上卷二十「集、別集」にも著録。解題もほぼ同文。
	『夕川愚特』二巻	●明・高儒撰『百川書志』卷九「子、德行家」 「夕川愚特」二巻。皇明夕川居士鳳陽陶輔著。集一百二十事實。俗而易知、直而易解、不待講論之語也。
	『蛭駭清娛』二巻	●明・高儒撰『百川書志』卷十八「集、詞曲」 「蛭駭清娛」二巻。皇明應天衛指揮陶輔著。隱樂二令二百二十闕餘。皆雜詠。
	『閩簷□笑』一巻	●明・高儒撰『百川書志』卷十八「集、詞曲」 「閩簷□笑」一巻。夕川老人陶輔著。十二首。專詠世俗之事。
	『夕川詠物詩』一巻	●明・高儒撰『百川書志』卷二十「集、別集」 「夕川詠物詩」一巻。皇明夕川老人陶輔著。目前事物吟咏殆盡。不文不俗。凡三百首。未附「益梅賦」。
24 陳鐸	(1443?-1507) 字大聲、號七一居士、下邳人、家于金陵。睢寧伯陳文之曾孫、都督陳政之孫。／世襲濟川衛指揮、南京濟川衛指揮使（南京中軍右都督）。／「風流倜儻、以樂府名于世。所為散套、穩協流麗、被之絲竹、審宮節羽、不差毫末。居第之南、有秋碧軒・七一居、精潔絕塵、通人勝流、過從談讌。山水傲沈啓南（井口注：沈周）、自為詩題其上。人知大聲善樂府、不知其能畫、又不知其工于詩也」清・錢謙益輯『列朝詩集』丙集「陳指揮鐸」。「南都自洪・永初、風雅未暢。徐霖・陳鐸・金琮・謝培華談藝正德時、稍稍振起」（明史）卷二八六「列傳一七四、文苑二、顧璘」）。	
	『秋碧樂府』	●明・高儒撰『百川書志』卷十八「集、詞曲」 「秋碧樂府」二巻。皇明濟南衛指揮七一居士陳鐸大聲著。分南北二調、小令從之。 ●明・周暉撰『金陵瑣事』卷二「曲品」 陳鐸、有「秋碧樂府」・「梨雲寄傲」・「公餘漫興」、行于世。咏閩情「三弄梅花」一闕、頗稱作家。所為散套穩協流麗、被之絲竹、審宮節羽、不差毫末。 ★盧前輯『飲虹移所刻曲』中の「秋碧樂府」一巻と同題だが、同一書かは不明。
	『梨雲寄傲』（＝「黎雲寄傲詞」？）	●明・高儒撰『百川書志』卷十八「集、詞曲」 「黎」[ママ]雲寄傲詞」一卷。陳鐸大聲作。附時人三子作。 ●同上（『金陵瑣事』） ★中國國家圖書館藏『坐隱先生精訂陳大聲樂府全集』（萬曆三十九年〔1611〕序、汪氏環翠堂刻本、索書號・15693）收「梨雲寄傲」二巻
	『公餘漫興』	●同上（『金陵瑣事』） ※清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十二は「蔡紹先」の著作とする。
	『秋碧軒稿』	★同上（『坐隱先生精訂陳大聲樂府全集』）收「秋碧軒稿」二巻
	『可雪齋稿』（＝「可齋樂府」？）	●清・錢謙益輯『列朝詩集』丙集「陳指揮鐸」 廣陵張佐曰、「…嘗見『可齋樂府』…」。 ★同上（『坐隱先生精訂陳大聲樂府全集』）收「可雪齋稿」二巻
	『月香亭稿』	★同上（『坐隱先生精訂陳大聲樂府全集』）收「月香亭稿」二巻
	雜劇「納錦郎傳奇」	★同上（『坐隱先生精訂陳大聲樂府全集』）收雜劇「納錦郎傳奇」一巻
	雜劇「太平樂事」	★同上（『坐隱先生精訂陳大聲樂府全集』）收雜劇「太平樂事」一巻
	『鄭耆老義配好姻緣』 雜劇	●清・錢謙益撰『錢蓮王述古堂藏書目錄』卷十「曲、明陳大聲」 「鄭耆老義配好姻緣」抄。

名 前	略 歷	
	著作・刊本書名	書誌情報
	〔草堂餘意〕	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷三十二〔詞曲類〕 〔草堂餘意〕一卷。陳鐸選宋詞、附以己作。 ●同書卷三十二〔詞曲類〕 陳鐸『草堂餘意』二卷。 ★同上（坐隱先生精訂陳大聲樂府全集）收〔草堂餘意〕二卷 ★〔續修四庫全書〕第一七二三冊〔坐隱先生精訂草堂餘意〕二卷 明 陳鐸 撰 北京圖書館藏萬曆中汪氏環翠堂刊坐隱先生精訂陳大聲樂府全集七種本
	〔滑稽餘音〕 二卷	●明・高儒撰『百川書志』卷十八〔集、詞曲〕 〔滑稽餘音〕二卷。七一居士作。一百四十一闕。各咏一藝業曲、盡人情物態。總十二令。
	〔秋碧軒集〕 五卷	●明・高儒撰『百川書志』卷十七〔集、國朝〕 〔秋碧軒集〕五卷。南京濟川衛指揮使陳鐸大聲著。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十二〔別集類、正德〕 陳鐸『秋碧軒集』五卷。又『香月亭集』。字大聲、上元人。睢寧伯陳文曾孫。世襲濟州〔ママ〕衛指揮。工聲律、人稱樂王。 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷三十八〔陳鐸一首〕 有『秋碧軒』・『香月亭』詩集。
	〔香月亭集〕	●清・錢謙益輯『列朝詩集』丙集〔陳指揮錄〕 成化中、江陰下華伯序其『香月亭詩』。 ●同上（『千頃堂書目』卷二十二・〔明詩綜〕）
	〔詞林要韻〕 一卷	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷三〔小學類〕 陳鐸『詞林要韻』一卷。字大聲、號七一居士、成化癸卯（十九年、1483）序。
	〔滑稽別傳〕	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十五〔類書類〕 司馬泰『文獻彙編』一百卷。…六十三卷：『滑稽文傳新集』。『滑稽別傳』。七一居士。『滑稽文傳外集』。
25. 姚福	(成化年間) 字世昌、號守素道人、南京錦衣衛人。／襲南京錦衣衛千戶。／「嘗構屋、一楹榜曰、『青溪精舍』。每樵入、輒以籍書、訓子弟。里中多從問字。有求詩文者、輒應之。博學洽聞、留心古今之事」(清・陳作霖編『光緒』金陵通傳〔清光緒三十三年刊本〕卷十七〔吳國賢〔附姚福〕])	
	〔青谿暇筆〕	●〔明史〕卷九十八〔志七十四、藝文三、子類、小說家類〕 姚福『青谿暇筆』二十卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十二〔小說類〕 姚福『青溪暇筆』二十卷。字世昌、號守素道人。南京羽林衛千戶。成化中人。好讀書、與劉昌・欽諫交善。所著述甚夥。別有『窺豹錄』・『兵談纂類』・『神醫診籍』・『避喧錄』・『立身警策』・『詠史詩說』・『敘古千文』・『解發蒙歌』、皆未見。 ●清・嵇璜撰『續文獻通考』卷一七七〔經籍考、子〕 姚福『青溪暇筆』三卷。福、字世昌、自號守素道人。江寧人。 ●清・王士禛撰『池北偶談』卷十七〔儒將詩〕 成化開金陵姚福者、世襲千戶、著『定軒集』・『避喧錄』・『窺豹錄』及『青溪暇筆』若干卷。予嘗見『暇筆』草稿、福手書也。記軼事、頗亦可喜、而論詩、庸陋。 ●清・陳作霖編『光緒』金陵通傳〔清光緒三十三年刊本〕卷十七〔吳國賢〔附姚福〕〕 著有『風露亭稿』・『青溪暇筆』・『定軒詩話』・『窺豹錄』・『避喧錄』。 ★〔四庫全書存目叢書〕子部 第一〇九冊『青溪暇筆』二卷 明 姚福 撰 北京圖書館藏明邢氏來禽館鈔本
	〔窺豹錄〕	●同上（『千頃堂書目』・『池北偶談』・『金陵通傳』）
	〔兵談纂類〕	●同上（『千頃堂書目』）
	〔神醫診籍〕	●同上（『千頃堂書目』）
	〔避喧錄〕	●同上（『千頃堂書目』・『池北偶談』・『金陵通傳』）
	〔立身警策〕	●同上（『千頃堂書目』）
	〔詠史詩說〕	●同上（『千頃堂書目』）
	〔敘古千文〕	●同上（『千頃堂書目』）
	〔解發蒙歌〕	●同上（『千頃堂書目』）
	〔定軒集〕〔詩話〕	●同上（『池北偶談』・『金陵通傳』）
	〔風露亭稿〕	●同上（『金陵通傳』） ●『江南通志』(四庫全書本) 卷一九四〔藝文志、集部二、詩文集〕 〔風樹亭稿〕金陵姚福。

【研究ノート】明代武臣による著作・刊本（表）

名 前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
	『明文苑通編』十卷	※同一人物の著作か不明。 ●『明史』卷九十九「志七十五、藝文四、集類、總集類」姚福『明文苑通編』十卷。
26 史徐	(成化年間?) 字巽伯、溧陽人。都指揮。 ※『明詩綜』では沈周(1427-1509)の後に列せられる。 『樂山集』	●清・朱彝尊編『明詩綜』卷二十六「史徐一首」有『樂山集』。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十「別集類、成化」史徐『樂山集』。字巽伯、溧陽人、都指揮。
27 郭良	(1454-1507) 字存忠、號賓竹、臨淮人。武定侯郭英之五世孫。郭勛之父。／授錦衣衛指揮僉事、襲封武定侯、右軍都督府僉書管事。／「公雖生故家、值業中落、囊無餘貨、惟積書數千卷、凡天官時日戰守攻圍之法、悉有指授。以至堪輿醫卜、罔不究心。公暇則詠詩作書、開園時花、尤好竹、以賓竹自號。大夫士過者談論、窮日夕不厭也」(明・李東陽撰「明故武定侯郭公墓誌銘」)〔『懷麓堂集』卷八十九「文後稿二十九、誌銘」〕。 『賓竹稿』十卷・『詩餘』	●明・高儒撰『百川書志』卷十六「集、國朝」『賓竹稿』十卷。『詩餘』。襲封武定侯郭良存忠撰。同前(井口注：郭鏞撰『親賢集』・郭珍撰『芸閣稿』)總稱『文獻集』。
	『毓慶動懿集』八卷	※郭良(郭勛の父)撰、郭勛續輯・刊刻。 ●明・高儒撰『百川書志』卷二十「集、雜集」『毓慶動懿集』八卷。定武〔ママ〕侯家錄其歷世墨書・文翰・琬琰・詩章也。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十「傳記類」郭良『毓慶動懿集』八卷。 ★漢籍データベース 『毓慶動懿集』八卷 明 郭良 撰 昭和四十二年 東京東洋文庫 用米國國會圖書館攝國立北平圖書館舊藏明正德十一年武定郭氏刊本景照 東洋文庫 ★臺北國立國家圖書館に郭勛刻本が現存(索書號：205.8 02857)。題署「襲封武定侯玄孫良嶺首輯錄 太保武定侯來孫勛俯願刊行」。
28 楊宏	(1463-1541) 字希仁、號容堂、大河衛人。／以蔭為西安左衛指揮使、充總兵官節錄准揚、總督漕運、南京中軍都督府都督同知。／「十有二歲入西安郡廓、踰數載、精通書史、才氣浮浮逼人、一時英俊相與頡頏、以科第可唾手取也。／「公好讀書、至老不輟、發為詩文、可追古作」(佚名撰「南京中軍都督府都督同知楊宏宏墓誌銘」)〔明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一〇七〕。 『漕運志』(=『漕運通志』?)	●佚名撰「南京中軍都督府都督同知楊宏宏墓誌銘」(明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一〇七) 所著有『漕運志』・『容堂雜稿』・『容堂奏議』・『自考錄』藏于家。 ●『明史』卷九十七「志七十三、藝文二、史類、故事類」楊宏『漕運志』四卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷九「典故類」楊宏『漕運』〔一本有通字〕志』十卷。字希仁、大河衛人。嘉靖中漕運總兵官。 ●清・萬斯同撰『明史』卷一三四「藝文二、史部、故事類」楊宏『漕運志』四册。字希仁、大河衛人。嘉靖中漕運總兵官。 ★『四庫全書存目叢書』史部 第二七五册『漕運通志』十卷 明 楊宏 撰 明 謝純 撰 北京圖書館藏 明嘉靖七年楊宏刻本
	『容堂雜稿』稿	●同上(『國朝獻徵錄』) ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十二「別集類、正德」楊宏『容堂雜稿』。又『自考錄』。字希仁、海州人。世襲指揮、歷官中軍都督府都督同知、督理漕運。
	『容堂奏議』	●同上(『國朝獻徵錄』)
	『自考錄』	●同上(『國朝獻徵錄』・『千頃堂書目』卷二十二)
29 沐暉	(1473-1519) 字元中。黔寧王伯沐英之五世孫、贈定邊伯沐昂之玄孫、沐紹勛之父。／襲指揮僉事、襲其兄琮黔國公爵、總兵官鎮守雲南、征南將軍、謚莊襄。／「願事問學」(『武宗實錄』卷一七五〔正德十四年六月〕庚寅)。 『三軒詩集』	●清・范邦甸撰『天一閣書目』卷四之二「集部、別集類」『三軒詩集』。刊本。○明左都督總兵雲南定邊武襄伯沐昂著『素軒詩』十二卷・錦衣副千戶沐偉著『敬軒詩』四卷・右都督總兵雲南沐璘著『繼軒詩』十二卷。高孫黔國公沐暉重刊。 ※全文は『表』3「沐昂」の項参照。
	『玉岡詩集』六卷	●明・楊慎撰『玉岡詩集序』(『太史升庵文集』卷三)敏靖五山公(井口注：沐紹勛、公之嗣也。手輯其遺編、為六卷、南園張公序之。將命梓人、而未就緒。乃今太保上公(井口注：紹勛之子、沐朝輔)嗣之、思繼志以傳、乃命永昌戊史慎繼序之。

名 前	略 歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
30: 梅純	<p>(成化～正徳年間) 字一之、號損齋、南京孝陵衛人。寧國大長公主・駙馬都尉梅殷之曾孫。／舉成化辛丑(十七年、1481)進士、授懷遠知縣、再補蔭孝陵衛指揮使、擢中都留守。／「舉人梅純、駙馬都尉殷之玄孫。會試下第入監、會其父孝陵衛指揮使昇卒、例應襲職、因自陳欲俟下科再試。兵部言無例。上以其動戚之裔、能有志科目、特許之」(『憲宗實錄』卷一九二〔成化十五年秋七月〕壬申)。「命中都留守司署副留守梅純、復爲孝陵衛指揮使。純寧國大長公主之曾孫也。初由進士選知縣、後襲祖職爲指揮使、陞署副留守。至是自陳願回原衛、以便奉祀。從之」(『武宗實錄』卷三十一〔正徳二年冬十月〕甲戌)。「母老乞養歸、一意著述。見有奇書、即解衣購之、字字校讐、精寫成帙」(清・陳作霖編『〔光緒〕金陵通傳』〔清光緒三十三年刊本〕卷十「梅殷〔附純〕」)。</p>	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十二「別集類、正徳」 沐崑『玉岡詩集』六卷。字元中。黔寧王(井口注：沐英)五世孫。鎮守雲南總兵、官征南將軍、黔國公、諡莊襄。</p>
	『損齋備忘錄』	<p>●明・高儒撰『百川書志』卷八「子、小說家」 『損齋備忘錄』二卷。皇明夏邑梅純著。凡十類。 ●明・顧起元撰『客座贅語』卷六「舉進士復襲指揮」 梅損齋、名純、字一之。…私印有「賜進士中都留守之章」。所著有『續百川學海』・『性理辨訓』・『損齋備忘錄』。 ●『明史』卷九十七「志七十三、藝文二、史類、雜史類」 梅純『損齋備忘錄』二卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷五「別史類」 梅純『損齋備忘錄』二卷。字一之、南京孝陵衛人。駙馬都尉殷曾孫。舉成化辛丑進士、授懷遠知縣、與上官不合、投檄歸。再補蔭孝陵衛指揮使、擢中都留守、致仕。 ●清・陳作霖編『〔光緒〕金陵通傳』(清光緒三十三年刊本)卷十「梅殷〔附純〕」 順昌子純、字一之、號損齋。…著有『損齋集』・『性理辨訓』・『損齋備忘錄』、輯『續百川學海』。純子恆、字石橋、嘉靖十九年舉人、官沔池知縣、罷歸、修損齋遺書。 ★『欽定四庫全書』第八八五・八八六册 子部 第一九一・第一九二 第八八六册 子部 第一九二 古今說海說纂部雜纂家『損齋備忘錄』一卷 ★『四庫全書目録』子部 第一〇一册『損齋備忘錄』一卷 明 梅純 撰 涵芬樓影印明刻今獻堂本</p>
	『損齋集』	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十「別集類、成化辛丑科十七年」 梅純『損齋集』。字一之、江寧人。江「一作中」都留守。 ●同上(『〔光緒〕金陵通傳』)</p>
	『性理辨訓』	●同上(『客座贅語』)・『〔光緒〕金陵通傳』)
	『續百川學海』一百卷	<p>●『明史』卷九十八「志七十四、藝文三、子類、小說家類」 梅純『續百川學海』一百卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十五「類書類」 梅純『續百川學海』一百卷。遺書目作吳永著。 ●同上(『客座贅語』)・『〔光緒〕金陵通傳』)</p>
31: 劉銳	<p>(弘治年間?) 字蕃之、號海邨[村]、海鹽人、其先關中人。／世襲海寧衛指揮使。／「雖係出動閩、而學問淹洽、與瀛洲諸老齊和」(清・沈季友編『樵李詩繫』卷十一「明、劉指揮銳」)。「海村[ママ]少補諸生、屢試不利、乃食世祿里居、賑飢散藥、以厚德聞」(清・朱彝尊編『明詩綜』卷四十九「劉銳一首」)。 ※『孝宗實錄』卷二十七(弘治二年六月)丁未などに見える「把總都指揮僉事劉銳」を同一人物とみなして、活動時期を「弘治年間?」としたが、要再考。</p>	
	『春臺集』	<p>●清・朱彝尊編『明詩綜』卷四十九「劉銳一首」 有『春臺集』。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 劉銳『春臺集』。字蕃之、海鹽人。海寧衛指揮使。</p>
32: 童昶	<p>(正徳年間)／施州衛指揮、署都指揮使、署都指揮僉事、充右參將。 ※『武宗實錄』卷八十四(正徳七年〔1512〕二月)癸未～卷一九三(正徳十五年〔1520〕十一月)壬申に事蹟。</p>	
	『八陣圖演義』	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十三「兵家類」 童[井口注：四庫全書本は章]昶『八陣圖演義』。施州衛指揮、任參將、征四川鄒藍二賊有功(井口注：正徳四年)。</p>
33: 張恂	<p>(?-1507) 安鄉伯張興之子裔孫。／金吾右衛指揮使、襲封安鄉伯、掌南京前軍都督府事、專領操江。</p>	
	『虛舟詞』二卷	<p>●明・高儒撰『百川書志』卷十八「集、詞曲」 『虛舟詞』二卷。皇明金吾左衛指揮張恂[井口注：恂の誤]作。凡二十套。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷三二「詞曲類」 張恂『虛舟詞』二卷。金吾左衛指揮。</p>

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
34 高榮	(1473-1535) 字邦慶、號蘭坡、順天涿州人。司禮監太監高鳳之侄高得林之子、錦衣衛指揮高儒之父。／初爲涿州學生、爲中書舍人文華殿辦事、任尚寶丞、陞錦衣衛指揮同知、鎮國將軍。／「暇日取朝野交游、題贈翰墨、及先哲圖書、手自摹勒集成數書」（明・高儒撰『百川書志』卷十九「集、總集」）。「既冠、治書觀風者、見而識□□之。□□「昇涿」州學生、業舉不售、士論惜之」、「與修『歷代通鑑纂要』（明・杜旻撰「□□□□」明故鎮國將 軍錦衣指揮使高公配淑人左氏合葬墓誌銘）『新中國出土墓誌』北京卷、二四九、中國文物研究所編、文物出版社、1994年）。 ※□は破損箇所。文脈に鑑みて本文を補った。	
	『蘭坡聚珍集』二卷	●明・高儒撰『百川書志』卷十九「集、總集」 『蘭坡聚珍集』二卷。先父諱榮、字邦慶、涿鹿人也。…此集約收三代單載家儒。上自王公國老、下及方外聞人、書法詳明、諸體攸備、爲後之選者設也。
	cf.『南山松柏集』一卷	●明・高儒撰『百川書志』卷二十「集、雜集」 『南山松柏集』一卷。諸名公壽先君子六十壽也。先父諱・字・履歷、見涿州志及家譜。
35 陳汝玉	(弘治～嘉靖年間?) 字思古、安吉荆溪鄉人。／年十七襲父懷遠將軍統衛事、署都指揮、總揚州漕運、累功陞南京都督僉事、拜南京坐營。／「至弘治十八年(1505)、用尙書劉公廩、陞署都指揮」、「宸濠之變、領兵駐下江、節制鎮常蘇松儀真軍」、「嘉靖五年(1526)天子廉得其狀、拜南京坐營」（明・呂柟撰『陳思古集序』〔『涇野先生文集』卷九〕。／「少有將略、讀書便領大義、以爲丈夫當雄萬人、何似書生耶」（同上『涇野先生文集』）。	
	『思古集』	●明・呂柟撰『陳思古集序』（『涇野先生文集』卷九） 是宣傳其集以示四方乎。
36 毛良	(?-1540) 字舜臣、號西山、北京人。／世襲南寧伯。 ※『孝宗實錄』卷八十六(弘治七年[1494]三月)戊戌～『世宗實錄』卷二四三(嘉靖十九年[1540]十一月)戊戌に事蹟。	
	『心夔稿』十卷	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十一「別集類、弘治」 毛良『心夔稿』十卷。字舜臣、號西山、北京人。世襲南寧伯。
37 陳瑤	(正徳～嘉靖年間) 高郵州人。／太原左衛千戶、浙江署都指揮僉事、漕運參將、蘇松等處參將兼提督備倭、通州參將、南京後軍都督府署都督僉事、提督操江。 ※『武宗實錄』卷二十八(正徳二年[1507]秋七月)戊申～『世宗實錄』卷一三六(嘉靖十一年[1532]三月)丙辰に事蹟。	
	『師律提綱』一卷	●明・高儒撰『百川書志』卷七「子、兵家」 『師律提綱』一卷。皇明太原陳瑤著。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十三「兵家類」 陳瑤『師律提綱』一卷。高郵州人。太原左衛千戶。凡六篇。
		★漢籍データベース ①『師律提綱』一卷 明 陳瑤 撰 朝鮮 權懼 書寫 呂之興 校正 嘉靖四十二年權應仁跋 朝鮮 刊 黒口九行本 蓬左文庫 ②『師律提綱』明 陳瑤 寛政 寫 公文書館
	『一覽知兵武閣捷勝』一卷	※同一人物の著作か未確定。 ★漢籍データベース 『一覽知兵武閣捷勝』一卷 明 陳瑤 撰 天啓六年劉光春序 書林余仁公 重刊本 蓬左文庫
38 郭勛	(1475-1542) 字世臣、號東泉・蒼嘉、濠(鳳陽)人。武定侯郭英之六世孫、郭良之長子。／侍衛、襲封武定侯、圍子手指揮、上直侍衛、後軍都督府僉書管事、神機營五千下坐營管操、總管三千營操練、總兵官鎮守兩廣、加太子大保、提督團營總兵官兼督五軍營、僉書中軍都督府事、提督團營兼掌後軍都督府事、加太師・光左柱國、進翊國公(一部省略)。／「勛架梁有智數、頗涉書史」（『明史』卷一三〇「列傳十六、郭英〔附勛〕」）。	
	『三家世典』	●明・高儒撰『百川書志』卷六「史、譜牒」 『三家史〔井口注・世の誤〕典』三卷。大明武定侯郭勛輯。開國功臣魏・黔二國公及侯三世家系、履歷・動伐・遭遇本末。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十「傳記類」 郭勛『三家世典』一卷。輯徐達・沐英・郭英三家世系、履歷・動伐・遭遇本末。 ★『四庫全書存目叢書』史部 第九十一冊『三家世典』一卷 明 郭勛 撰 陝西省圖書館藏明鈔國朝典故本 ★漢籍データベース 『三家世典』一卷 增校勘記 明 郭勛 撰 萬明 標點併撰校勘記 京大人文研 東方
	『毓慶勳懿集』八卷	※郭良(郭勛父)撰、郭勛續輯・刊刻。【表】27「郭良」の項参照。
	『詩韻釋義』	●明・高儒撰『百川書志』卷二「經、小學」 『詩韻釋義』五卷。江東雪崖老人輯、關西修髯子釋義。今人。 ★漢籍データベース 『詩韻釋義』二卷 撰人未詳 朝鮮 版 前田育徳會

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
		<p>★中國國家圖書館に原刻本が現存（索書號：02507）。五卷。題署「江東雪厓老人集／關西修髯子釋義」。楊一漢序に郭勛による刊行経緯を述べる。</p>
『書莊記』一卷		<p>※郭勛刻本であるかは不明。 ●明・高儒撰『百川書志』卷五「史、目錄」 『書莊記』一卷。國朝武定侯家刻書目也。并記。</p>
『將鑑博議』		<p>●『欽定四庫全書總目提要』卷一〇〇「子部十、兵家類存目、〔將鑑論斷〕十卷」 舊本題宋戴少望撰。…此書自序題「紹興辛酉」。…是書採輯古來善用兵者、始於孫武、終於郭崇輿、凡九十三人、各以時代爲次。每人之下、皆以一語標目、評其得失、而反覆論其所以然。…此本爲宋麻沙板、明武定侯郭勛嘗重刻之、前有正德十年達賓序、題曰「將鑑博議」、與宋板不同。考「永樂大典」已引爲「將鑑博議」、則其來久矣。 ★漢籍データベース 『新銀評釋歷代將鑑博議』八卷 元 [ママ] 郭世臣（井口注：郭勛の字）明萬曆版 前田育徳會</p>
『元次山文集』十卷・『拾遺』一卷		<p>★『四部叢刊』集部 第一四六七～一四六八冊『元次山文集』十卷『拾遺』一卷 唐 元結 撰 明 郭勛 補輯 上海涵芬樓 用江安傅氏雙鑑樓藏明正德刊本景印</p>
『白樂天詩集』四十卷		<p>★漢籍データベース 『白樂天詩集』四十卷 唐 白居易 撰 明 郭勛 編 明正德十二年序 刊 東京都立中央</p>
『白樂天文集』三十六卷		<p>★漢籍データベース ①『白樂天文集』三十五卷 增『年譜』一卷 唐 白居易 撰 清 汪立名 撰 年譜餘姚馮氏萍齋據正德十四年鳳陽郭氏刊本鈔 京大人文研 東方 ②『白樂天文集』三十六卷 唐 白居易 撰 明 郭勛 重編 正德十四年 郭勛 刊本 宮城縣圖 ★中國國家圖書館に郭勛刻本が現存（索書號：11495）。</p>
『雍熙樂府』二十卷		<p>★『續修四庫全書』第一七四〇～一七四一冊『雍熙樂府』二十卷 明 郭勛 輯 民國中國上海商務印書館四部叢刊續編景印嘉靖四十五年刊本 ★漢籍データベース ①『雍熙樂府』二十卷 明 郭勛 編 明嘉靖十年序 刊本 大阪府立 中之島 ②『雍熙樂府』二十卷（有落丁）明嘉靖十九年 版 宮内府書庫部 ③『雍熙樂府』二十卷 明 郭勛 輯 嘉靖四十五年序 刊本 京大文</p>
『太和傳』		<p>●『世宗實錄』卷二五三（嘉靖二十年〔1541〕九月）乙未 尋有旨諭衛、同念助曾贊大禮、并刻『太和傳』等券、令釋刑具、即問奏處分。 ●明・沈德符撰『萬曆野獲編』卷二十五「詞曲、太和記」 向年曾見刻本『太和記』、按二十四氣、每季填詞六折、用六古人故事。每事必具始終、每人必有本末。齣既曼衍、詞復冗長。若當場演之、一折可了一更漏。雖似出博治人手、然非本色當行。又南曲居十之八、不可入絃索。後聞之一先輩云是楊升庵太史筆。未知然否。然翊國公郭勛、亦刻有『太和傳』。郭以科道聚斂、下鎮撫司究問、尋奉世宗聖旨、勛曾贊大禮並刻『太和傳』等券、合釋刑具即問奏處分。夫刻書至與贊禮並稱、似非傳奇可知。予未見郭書、不敢臆斷。然北詞九宮譜本、名『太和正音』、又似與音律相關。俱未可曉也。</p>
『千金寶要』八卷		<p>●清末・楊守敬『日本訪書志』卷九「『千金寶要』八卷、明刊本」 明嘉靖丁酉（十六年、1537）刊本、首郭思自序、次武定侯郭勛序、次隆深序。每半葉十行、行二十字。卷首第二行題「前徽猷閣直學士通奉大夫致仕河陽郭思纂」、第三行題「陝西西安府華州知州古孟劉整輔校重鐫石」、第四行題「救急方」、第五行「婦人第一」。按郭氏原刻、世久失傳、其重鐫者爲華州知州劉整所編。正統八年刊石。厥後楊勝賢刊本于華州、景泰六年郭勛刻本于粵東、張翰刻本于蜀中。此即蜀中本也。又有隆慶六年秦王守中刊石羅州者、又并爲六卷。嘉慶十二年孫淵如刻于「平津館叢書」中者、即隆慶本也。此本有小島學古陸校、文字頗多訛謬、不及隆慶本之佳。然其次序、似當仍郭氏之舊。隆慶本則多所移易、又脫郭氏原序、又刪其「救急」次第原目、惜乎淵如刊此書時不及見此本也。 ★臺灣故宮博物院に郭勛刻本が現存（索書號：故觀001298-001299）。</p>
『國朝英烈記』（=英烈傳）		<p>●明・鄭曉撰「今言」九十二 嘉靖十六年、郭勛欲進祀其立功之祖武定侯英於太廟、乃做「三國志」俗說及「水滸傳」爲「國朝英烈記」、言生擒土誠、射死友諒、皆英之功。 ●明・沈德符撰『萬曆野獲編』卷五「勳戚、武定侯進公」 武定侯郭勛…自撰開國通俗紀傳、名「英烈傳」者。 ★『古本小說集成』第四批「新刊大宋演義中興英烈傳」八卷 明 熊大木 撰 東京國立公文書館内閣文庫藏嘉靖三十一年楊氏清江堂刊本</p>

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
		<p>★漢籍データベース 『新銀龍名世錄皇明開運英武傳』八卷 卽『皇明英武傳』明萬曆十九年 刊 楊明峰 公文書館 ※『國朝英烈記』は現存の『英烈傳』・『英武傳』に類似する内容とみられている。</p> <p>『郭氏文獻集』 ●明・湛若水撰『郭氏文獻集叙』（『甘泉先生文集』【外編】卷二） 臨淮郭氏有二侯、又皆有文。武定三代有『文獻集』、興定襄三代『聯珠集』、交相輝映、爲聖代一門之雅。今上即位之七年、實今太保武定侯世孫襲封之五年、用公卿廷議、以公剛正、有服遠之威、命輟三千營之任、來鎮兩廣。武備旣舉、乃修文事、聞嘗手編先世遺文。其高祖駙馬都尉公諱鏞者、有『親賢稿』・『獨藩詩』。曾祖贈定侯諱諱者、有『芸閣稿』。厥考襲武定侯諱良者、有『賓竹稿』。題之曰『郭氏文獻集』、將壽梓以傳。甘泉子將命安南、過五羊、遂謁爲敘。…夙塵重光、家傳文雅。故其蓄而爲德、發而爲辭章也、爲浚明有家之音。…詩曰、「貽厥孫謀、以燕翼子」、其三公之謂乎。『無念爾祖、事修厥德』、其太保公之謂乎。</p> <p>『水滸傳』 ●明・晁瑛撰『晁氏寶文堂書目』中卷「類書」 『水滸傳』武定板 …（中略）… 『三國通俗演義』武定板 ●明・沈德符撰『萬曆野獲編』卷五「勳戚、武定侯進公」 武定侯郭勳、在世宗朝、號好文多藝能計數。今新安所刻『水滸傳』善本、卽其家所傳。前有汪太函序、託名「天都外臣」者。</p> <p>『三國通俗演義』 ●同上（『晁氏寶文堂書目』）</p>
39: 陳寅・張□等	<p>【陳寅】（?-1549）錦衣衛副千戶、錦衣衛指揮僉事、錦衣衛都指揮使、署都督僉事、掌錦衣衛事、後軍都督同知、後軍都督府右都督。 ※『世宗實錄』卷二（正德十六年〔1521〕五月）癸酉～卷三四八（嘉靖二十八年〔1549〕五月）丁酉に事蹟。 【張□】都督僉事。</p>	<p>●明・高儒撰『百川書志』卷四「史、故事」 『聖跡錄』一卷。 嘉靖辛丑（二十年、1541）六月十二日、錦衣衛掌衛事右都督陳寅・都督金〔井口注：僉の誤か〕事張□等纂修、進。載睿宗并太后記文詩序六篇、□□□聖跡四十二條。</p>
40: 孫堪	<p>(1482-1553) 字志健、號伯泉、餘姚之人。孫燧長子。／初爲諸生、以蔭爲錦衣衛千戶、嘉靖五年中武會試第一、歷官都督僉事。／「幼以孝聞、讀書質顯過人、弱冠補學宮弟子。工學子業、乃又善爲古文詞。一時文士、皆避弗敢與並。又有膂力、善騎射。鄉里長老見者、輒稱孫伯子文武才、期以遠到焉」又「工繪事」（明・孫陸撰『伯兄都督僉事堆行狀』（明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一〇八）。 ※父の孫燧が寧王朱宸濠に殺される。孫堪は亡骸を背負って千里の道を歩いて郷里に帰って埋葬した。</p>	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 孫堪『孫孝子文集』二十卷。字志健。燧子。官都督僉事。 ★漢籍データベース 『孫孝子文集』二十卷 明 孫堪 撰 昭和四十七年 本所用美國國會圖書館攝國立北平圖書館藏嘉靖四十一年姪男孫鋌刊本膠片景照 京大人文研 東方</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十「傳記類」 孫堪『忠烈編』九卷。</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十三「兵家類」 孫堪『弩考』。</p>
41: 余承恩	<p>(嘉靖年間) 四川青神人。太保肅敏公余子俊之孫。／世襲南京錦衣衛指揮同知、署都指揮僉事、僉書都司事、充左參將。 ※『世宗實錄』卷四十九（嘉靖四年〔1525〕三月）乙酉～卷一八八（嘉靖十五年〔1536〕六月）丁酉に事蹟。</p>	<p>●清・朱彝尊編『明詩綜』四十九「余承恩四首」 有『鶴池詩集』。…詩集八卷、銅梁張肖甫序之。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 余敬〔ママ〕恩『鶴池集』八卷。四川青神人。太保肅敏公余子俊孫。世襲南京錦衣衛指揮同知、充永寧參將、銅梁張肖甫序其集。</p>
42: 張幹山	<p>(嘉靖年間) 揚州衛指揮使。 ※明・張選撰『忠諫靜思張公遺集』卷九に、張幹山撰「異政謫後序」（序末に「嘉靖癸巳〔十二年、1533〕端月二十二日治生昭武將軍上輕車都尉揚州衛指揮使燕越張幹山拜書」と記す）が収められる。</p>	

名 前	略 歷	
	著作・刊本書名	書誌情報
	『狀元記事』三卷	●明・高儒撰『百川書志』卷五「史、傳記」 『狀元記事』三卷。皇明揚州衛指揮使阮浙野橋資館張幹山編述。宋元明三代、自宋太祖建隆庚申、至嘉靖己丑（八年、1529）、大廷御試一百九十餘年、詳載狀元、篤志立德、協夢應卜、符運兆瑞、致君行道之事、無稽罔之。獨元設立南北狀元、有異常典。
	『古今應驗異夢全書』四卷	●明・高儒撰『百川書志』卷十「子、占夢」 『古今應驗異夢全書』四卷。皇明揚州指揮浙東張幹山集編。根據書史暨傳聞、事實類載、甚悉非俗之隨事。臆斷此皆驗錄、去異言空談。凡十一類、四百三十二事。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十三「五行類」 張幹山『古今應驗異夢全書』四卷。揚州衛指揮。
43: 陶瑞	(嘉靖年間) 字鳳儀(?)、新會人。陶成之曾孫、陶魯之孫。／錦衣衛千戶。 ※曾祖陶成是永樂中舉人、正統中死(『明史』卷一六五「列傳五十三、陶成」)。 ※『世宗實錄』卷一九三(嘉靖十五年[1536]十一月)甲戌～卷三〇五(嘉靖二十四年[1545]十一月)戊寅に事蹟(『陶鳳儀』と表記)。 『世烈錄前集』五卷	※編纂者は武官だが、原著者は文官。 ●明・高儒撰『百川書志』卷二十「集、雜集」 『世烈錄前集』五卷。錄浙江副使陶成、湖廣布政使陶魯、死節定造、父子之忠烈也。制書・傳記・奏文・移印文・哀誄、皆備。其曾孫錦衣千戶鳳儀瑞之所集。 ●清・李文垣修／清・史澄纂『光緒』廣州府志』卷九十一「藝文略二、史部」陶氏『世烈錄』。明新會陶瑞之編。據『新會志』。
44: 萬表	(1498-1556) 字民望、號鹿園居士、鄞縣人。／年十七襲寧波衛指揮僉事、正德十五年(1520)中武進士、漕運參將、都督同知、僉書南京中軍都督府。／「讀書一日數行下、性孝友。父早世、母恭人王內訓斬斷、每事規以義方、公奉教唯謹」、「年十七嗣世職、志在鵠起、不事家人業、晝習騎射、夜燒燭讀書、揭孔明『寧靜澹泊』四言座右、曰『大丈夫當經營天下如武侯、然何能類首作求田問舍計乎』。庚辰武舉中式、石學士閣公卷以為奇、置第一」(明・焦竑撰『榮祿大夫南京中軍都督府都督同知萬公表墓志銘』)〔『國朝獻徵錄』卷一〇七〕。「嘉靖中、王汝中、羅達夫、唐應德、以理學名于時、而公與之頡頏」(清・錢謙益輯『別朝詩集』丁集中「萬都督表」)。	●『明史』卷九十七「志七十三、藝文二、史類、雜史類」 萬表『前後海寇議』三卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷八「地理類下」 萬表『海寇前後議』一卷。 ●『欽定四庫全書總目提要』卷一〇〇「子部十、兵家類存目、『海寇議』一卷」 明萬表撰。表字民望、鄞縣人。累官都督同知僉書南京中軍都督府。時值海寇出沒、為江浙患。表推原禍本、以為姦民通番者所致、因此「議」、上之當事、歷敘通逃嘯聚始末甚詳。其後倭亂大起、表結少林僧、習格闘法、屢殲其衆。蓋本能以才略自顯者、宜其所言之具有先見也。案黃虞稷『千頃堂書目』載表『海寇前後議』一卷。此乃袁褰採入『金聲玉振集』者、所錄僅一卷。疑已佚其「後議」、又訛萬為范、尤為失考矣。 ★『四庫全書存目叢書』子部 第三十一冊『海寇議』二卷 明 萬表 撰 中國科學院圖書館藏 明嘉靖吳郡袁氏嘉趣堂刻金聲玉振集本
	『灼艾集』錄]	●明・焦竑撰『榮祿大夫南京中軍都督府都督同知萬公表墓志銘』(『國朝獻徵錄』卷一〇七) 所著有「學庸志略」・「論語心義」・「孟子摘義」・「道經賢言」・「九沙雜言」・「玩鹿亭稿」、及纂『經濟文錄』・「灼艾集」・「玩鹿亭詩抄」・「濟世良方」・「玄門入道」・「資糧山中集」、諸書行於世。 ●『明史』卷九十八「志七十四、藝文三、子類、小說家類」 萬表『灼艾集』十卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十二「小說類」 萬表『灼艾錄』[ママ]十卷。又『九沙草堂雜言』二卷。 ★『四庫全書存目叢書』子部 第一二七冊『灼艾集』二卷『續集』二卷『餘集』二卷『別集』二卷 明 萬表 輯 北京大學圖書館藏明嘉靖刻本 ★『續修四庫全書』第一一八八冊『灼艾集』二卷『續集』二卷『別集』二卷『餘集』二卷『新集』二卷 明 萬表 輯 北京圖書館藏萬曆二十九年萬邦孚刊本 ★漢籍データベース 『灼艾集』二卷『續集』二卷『別集』二卷『餘集』二卷 明 萬表 編 明萬曆二十九年序 刊 公文書館
	『玩鹿亭稿』(=『玩鹿亭集』?)	●同上(『國朝獻徵錄』) ●『明史』卷九十九「志七十五、藝文四、集類、別集類」 萬表『玩鹿亭稿』八卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十二「別集、正德」

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
		<p>萬表『玩鹿亭集』八卷。字民望、鄞人。正徳末中武進士、累官南中軍都督府都督同知僉事。『鹿亭詩鈔』</p> <p>●清・朱彝尊編『明詩綜』四十九卷「萬表六首」</p> <p>有『玩鹿亭稿』。</p> <p>●『欽定四庫全書總目提要』卷一七六「集部二十九、別集類存目三、『玩鹿亭稿』八卷・『附錄』一卷」</p> <p>明萬表撰。表有『海寇議』、已著錄。萬氏世以動績顯。表獨才兼文武、每與唐順之等講學、舉優亦有功績、號爲儒將。然其詩文氣格稍弱、故終不能與一時文士角逐詞壇。是集、凡詩二卷、文六卷、末附錄贈答詩啓及行狀・墓誌。乃其子達甫所編、其孫邦孚所刊。達甫有『皆非集』、邦孚有『一枝軒稿』、皆能傳其家學云。</p> <p>★『四庫全書存目叢書』集部 第七十六冊『玩鹿亭稿』八卷『附錄』一卷 明 萬表 撰 浙江圖書館藏明萬曆萬邦孚刻本</p> <p>★漢籍データベース</p> <p>『玩鹿亭稿』二卷 明 萬表 撰 嘉靖刊 國會圖書館攝製北平圖書館善本書膠片 國會</p>
	『玩鹿亭詩抄』（＝『鹿亭詩鈔』？）	●同上（『國朝獻徵錄』・『千頃堂書目』卷二十二）
	『皇明經濟文錄』（＝『經濟文錄』）	<p>●同上（『國朝獻徵錄』）</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷三十「表奏類」</p> <p>萬表『經濟文錄』四十四卷。</p> <p>★漢籍データベース</p> <p>『皇明經濟文錄』四十一卷 明 萬表 編 明嘉靖三十三年序 刊 公文書館</p>
	『萬氏家抄濟世良方』六卷	<p>●同上（『國朝獻徵錄』）</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十四「醫家類」</p> <p>萬表『萬氏家抄濟世良方』五卷。又『積善堂活人滋補方』一卷。又『積善堂活人經驗方』一卷。一作萬〔井口補；邦〕孚六卷。</p> <p>★『四庫全書存目叢書』子部 第四十三冊『萬氏家抄濟世良方』六卷 明 萬表 輯 萬邦孚 增補 北京大學圖書館藏明萬曆三十七年刻本</p> <p>★漢籍データベース</p> <p>『萬氏家抄濟世良方』七卷 明 萬表 撰 明 萬邦孚 補 明 萬曆三十六年 刊 公文書館</p>
	『積善堂活人滋補方』（＝『萬氏積善堂祕驗滋補諸方』？）	<p>●同上（『千頃堂書目』卷十四）</p> <p>●漢籍データベース</p> <p>『萬氏積善堂祕驗滋補諸方』二卷 明 萬表 江戶 寫 公文書館</p>
	『積善堂活人經驗方』	●同上（『千頃堂書目』卷十四）
	『學庸志略』	<p>●同上（『國朝獻徵錄』）</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二「三禮類」</p> <p>萬表『學庸志略』。</p>
	『論語心義』	<p>●同上（『國朝獻徵錄』）</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷三「論語類」</p> <p>萬表『論語心義』。</p>
	『孟子摘義』	<p>●同上（『國朝獻徵錄』）</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷三「孟子類」</p> <p>萬表『孟子摘義』。</p>
	『道經贅言』（＝『道德經贅言』）	<p>●同上（『國朝獻徵錄』）</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十六「道家類」</p> <p>萬表『道德經贅言』一卷。</p>
	『九沙襟言』（＝『九沙草堂雜言』？）	●同上（『國朝獻徵錄』・『千頃堂書目』卷十二）
	『玄門入道』（＝『玄門入道寶糧』）	<p>●同上（『國朝獻徵錄』）</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十六「道家類」</p> <p>萬表『玄門入道寶糧』一卷。</p>
	『資糧山中集』	●同上（『國朝獻徵錄』）
	『醫學入門良方考』六卷	<p>★漢籍データベース</p> <p>『醫學入門良方考』六卷 明 萬表 撰 明 萬邦孚 補 明 刊 清 印 公文書館</p>
	『萬總戎集』一卷	★明・俞憲撰『盛明百家詩後編』第六十八冊『萬總戎集』一卷 明 萬表 撰

名 前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
45 俞大猷	(1503-1579) 字志輔、號虛江、晉江人。／世爲泉州百戶。嘉靖乙未(十四年、1535)舉武進士、累官都督同知、佩征蠻將軍印、進右都督。／「折節讀書、無所不闕、攻古文詞、思致深遠。家故貧甚、意豁如也。嘗授易一冊王先生、宜雲蘅林先生、福得虛齋先生之傳、最後聞虛舟趙先生本學、以易推衍兵家奇正虛實之權、著書『蹈鈴內外』等篇、復從授業。故公之學深於易、而精於兵」(明・趙恒志撰「後軍都督府都督同知贈左都督俞公大猷行狀」〔明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一〇七])。『其論兵多參用儒家言、閩人李杜序其書、以爲其學莫非兵、而其論兵莫非易』(清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集中「俞都督大猷」)。	
	『正氣堂集』	●明・趙恒志撰「後軍都督府都督同知贈左都督俞公大猷行狀」(明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一〇七) 所著書有『正氣堂集』及『伍法劍經』・『射法戰車』・『續武經總要』百餘卷、皆傳於世。 ●『明史』卷九十九「志七十五、藝文四、集類、別集類」 俞大猷『正氣堂集』十六卷。 ●清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集中「俞都督大猷」 有『正氣堂集』。 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷四十九「俞大猷一首」 有『正氣堂集』。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 俞大猷『正氣堂集』十六卷。『續集』七卷。又『餘集』四卷。字志輔、晉江人。世爲百戶。嘉靖乙未(十四年、1535)舉武進士、累官都督同知、佩征蠻將軍印、進右都督。卒贈左都督、諡武襄。 ★『四庫全書輯刊』第五輯 第二十冊『正氣堂集』七卷「近稿」一卷『餘集』四卷『續集』七卷 首一卷『鑲園議稿』一卷 明 俞大猷 撰 ★漢籍データベース 『正氣堂集』十六卷『餘集』四卷『續集』七卷 首一卷 末二卷 明 俞大猷 撰 明 李杜 編 嘉靖中 刊本 蓬左文庫
	『蹈鈴續篇』一卷 『劍經』一卷	●『明史』卷九十八「志七十四、藝文三、子類、兵書類」 俞大猷『蹈鈴續篇』一卷・『劍經』一卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十三「兵家類」 俞大猷『蹈鈴續篇』一卷。
	『伍法劍經』(=『劍經』?)	●同上(『國朝獻徵錄』・『明史』卷九十八) ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十三「兵家類」 俞大猷『劍經』。
	『射法戰車』	●同上(『國朝獻徵錄』)
	『洗海近事』二卷	★『四庫全書存目叢書』史部 第四十九冊『洗海近事』二卷 明 俞大猷 撰 福建省圖書館藏清鈔本 ★漢籍データベース 『洗海近事』二卷 附一卷 明 俞大猷 明隆慶三年序 刊 公文書館
	『續武經總要』一卷	●同上(『國朝獻徵錄』) ★『續修四庫全書』第九五九冊『重刊續武經總要』八卷 明 趙本學 撰 明 俞大猷 撰 萬曆中刊本 ★漢籍データベース 『重刊續武經總要』七卷『續篇』一卷 合八卷 明 趙本學 明 俞大猷 編(續) 明 萬曆二十二年序 刊 公文書館
	『浙海圖』	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷八「地理類下」 俞大猷『浙海圖』。總兵。
46 顧寰	(1503-1581) 字君錫、江都人。第六代鎮遠侯。鎮遠侯顧仕隆之子。／襲鎮遠侯、僉書左軍都督府事、僉書中軍都督府事、守備南京兼掌南京中軍都督府事、總兵官提督漕運鎮守淮安、總兵官鎮守兩廣、總督京營戎政、提督鎮守淮安、掌左軍都督府印務。 ※『世宗實錄』卷九十一(嘉靖七年〔1528〕八月)乙卯～『神宗實錄』卷一九(萬曆九年〔1581〕十二月)甲午に事蹟。	
	『漕河奏議』十卷	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷三十「表奏類」 顧寰『漕河奏議』十卷。又『兩廣奏議』二十卷。又『京營奏議』十二卷。鎮遠侯。
	『兩廣奏議』二十卷	●同上(『千頃堂書目』)
	『京營奏議』十二卷	●同上(『千頃堂書目』)
	『漕河總錄』二卷	※同一人物の著作か不明。 ●『明史』卷九十七「志七十三、藝文二、史類、地理類」 顧寰『漕河總錄』二卷。

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
47 鄧城	(嘉靖年間) / 泉州衛指揮。 / 「泉州衛右所百戶鄧城、實猷同志之友、願與卑職同死生、以報國家者」(明・俞大猷撰「上兩廣軍門東塘毛公平安南書」〔正氣堂集〕卷一「書」)。 ※俞大猷の戦友。「世宗實錄」卷四三七(嘉靖三十五年〔1556〕七月)辛巳～卷四七一(嘉靖三十八年〔1559〕四月)丙午に同名人物の事蹟が見えるが、同一人物か不明。	『寒松集』四卷 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 鄧城「寒松集」四卷。泉州衛指揮。
48 張元凱	(嘉靖～萬曆年間?) 字左虞、吳縣人。 / 以世職爲蘇州衛指揮、督漕運。 / 「少受毛氏詩、折節讀書、改而從戎、非其志也」(清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集中「張指揮元凱」)。「吾居恒怪、夫脫吾項貂者、例不能爲文語。…今天下幸承平無事、故張將軍不治兵、而得以其閒治詩。…然使張將軍而以一詩人名於天下、後世彼固甘之何者。…詩凡六卷、名之曰『伐檀集』」(明・王世貞撰『伐檀集序』)〔兪州山人續稿〕卷四十二)。 ※王世貞(1526-1590)と同時代。『明詩綜』では俞大猷の後に列せられる。	『伐檀(詩・齋)集』 ・「諸名家贈答詩」 ●清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集中「張指揮元凱」 有『伐檀詩集』十二卷。 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷四十九「張元凱十一首」 有『伐檀集』。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集、嘉靖」 張元凱『伐檀齋集』十二卷。字左虞、吳縣人。蘇州衛指揮。 ★『欽定四庫全書』第一二八五冊 集部 第二二四『伐檀齋集』十二卷「諸名家贈答詩」一卷 明 張元凱 撰 ★漢籍データベース 「伐檀齋集」十二卷 增「諸名家贈答詩」[ママ] 一卷 明 張元凱 撰 清 張震維 校 清康熙 刊 靜嘉堂文庫
49 李元昭	(嘉靖～萬曆年間?) 字用晦、杭州人。 / 世襲千戶、棄去不就。 / 「與童侍御南衡・方職方十洲輩、結社西湖。其詩皆明農習隱之言」、「所居曰岫巖山房、詞客過者、多爲詩吊之」(清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集中「李千戶元昭」)。 ※『列朝詩集』では張元凱の後に列せられる。	『岫巖山房集』 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷四十九「李元昭一首」 有『岫巖山房集』。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 李元昭『岫巖山房集』。又「農唱集」。字用晦、杭州人。世襲千戶。 『雲遊稿』 ●同上(『千頃堂書目』) 『農唱集』 ●同上(『千頃堂書目』)
50 張如蘭	(嘉靖～萬曆年間?) 字德馨。張可大(1569?-1632)之父。 / 南京羽林衛世襲指揮、武舉第一、官准徐漕運參將。 / 「博極群書、諳古今事如指諸掌」(清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集中「張參將如蘭」)。 ※『列朝詩集』では李元昭の後に列せられる。	『文章兵法譜』十卷 ●清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集中「張參將如蘭」 有「文章兵法譜」十卷・詩文集三十卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十三「兵家類」 張汝[ママ] 蘭「文章兵法譜」十卷。漕運參將。 『功狗集』三十卷 ●同上(『列朝詩集』) ※「詩文集三十卷」=「功狗集」三十卷か。 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷四十九「張如蘭一首」 有「功狗集」。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 張如蘭『功狗集』三十卷。字德馨。南京羽林衛世襲指揮、武舉第一、官至淮徐漕運參將。以子可大貴、特贈榮祿大夫、左「一作右」都督。 ●清・萬斯同撰『明史』卷一三七「藝文五」 張如蘭『弓狗集』三十卷。字德馨、南京羽林衛世襲指揮使、中武舉第一人、官准徐漕運參將。
51 陳鶴	(?-1560) 字鳴野、一字九阜、號鳴軒、一號海樵先生、紹興山陰人。 / 年十七襲紹興衛百戶、棄官。 / 「年十餘已知好古、買奇峽名楮、窮晝夜誦覽。十七而始以例襲其祖翁葉軍功所得官、官故百戶也。山人固不喜握鞭鞭弓矢、以自匿其芒角、負平生、一旦鬱鬱得奇疾」(明・徐渭撰「陳山人鶴墓表」)〔明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一一五〕。「其所作爲古詩文、若騷賦詞曲、草書圖畫、能盡效諸名家、開出己意、工繪絕倫、其所自娛戲、環至吳歛越曲、綠章釋梵、巫史祝呪、權歌變唱、伐木斲石、雍詞灘遊、休儒伶僂、象舞偶劇、投壺博戲、酒政圖壽、稗官小說、與一切四方語言、樂師矇瞶、口誦而手奏者、一遇興至、靡不窮態極調、於是四方之人、無不向慕、軒蓋造訪」(清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集中「海樵山人陳鶴」)。	『海樵先生全集』二 十一卷 ★『四庫全書存目叢書』集部 第八十五～八十六冊「海樵先生全集」二十一卷 明 陳鶴 撰 北京圖書館藏明隆慶元年陳經國粵東刻本

名 前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
	『海樵詩集』 (= 『陳鶴詩集』?) 二十一卷	●『明史』卷九十九「志七十五、藝文四、集類、別集類」 『陳鶴詩集』二十一卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 陳鶴『海樵詩集』二十一卷。字鳴野、一字九皋、紹興山陰人。世襲紹興衛百戶、棄其官出游、以詩名嘉隆間。 ●明・王宗沐撰『海樵詩集序』(『敬所王先生文集』卷三「海樵詩集序」) 本文は筆者未見。
	『海樵集』	●明・焦竑輯『國史經籍志』卷五「集類、別集」 陳鶴『海樵集』二卷。 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷四十九「陳鶴十首」 有『海樵集』。 ●清・朱琰輯『明人詩鈔』續集卷八「陳鶴三首」 鶴、字鳴野、山陰人。襲百戶、旋棄之。工詩古文、兼善書畫。有『海樵集』。 ★漢籍データベース 『海樵集』明 陳鶴『石倉十二代詩選』明五集卷之三十一 前田育徳會
	『陳海樵津詩』二卷	★漢籍データベース 『陳海樵津詩』二卷 明 陳雀 [ママ] 撰 嘉靖刊 國會圖書館攝製北平圖書館善本書膠片 國會
52: 張建節	(1512-1566) 字子行、號咸虛、鳳陽人。／爲郡諸生、襲蘇州衛指揮使、福建都指揮僉事掌司事。／「又日夜苦讀經史、爲書生業」、「御史視學者、已試君高等、補郡諸生。自是試輒傾其諸生、以至有既廩。而於其應天凡三試、輒不利。最後父珍卒、當襲」(明・王世貞撰「福建等處都指揮使司掌司事署都指揮僉事張君建節墓志銘」[明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一一〇])。	
	『毛詩問難』四卷	●明・王世貞撰「福建等處都指揮使司掌司事署都指揮僉事張君建節墓志銘」(明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一一〇) 所著有『毛詩問難』四卷、『北游錄』二卷、『軍政條約』四卷、『戰・守說』各一卷、『問漕集』二卷、『續漕志』二卷、『楚游稿』一卷、『守閩說』一卷、『樂志園集』四卷、藏於家。
	『北游錄』二卷	●同上 (『國朝獻徵錄』)
	『軍政條約』四卷	●同上 (『國朝獻徵錄』)
	『戰說』・『守說』各一卷	●同上 (『國朝獻徵錄』)
	『問漕集』二卷	●同上 (『國朝獻徵錄』)
	『續漕志』二卷	●同上 (『國朝獻徵錄』)
	『楚游稿』一卷	●同上 (『國朝獻徵錄』)
	『守閩說』一卷	●同上 (『國朝獻徵錄』)
	『樂志園集』四卷	●同上 (『國朝獻徵錄』)
53: 孫鉉	(1523-1573) 字文鼎、號劍峰、餘姚人。孫堪之子、孫鑑(會試第一)之從兄。／中嘉靖三十一年(1552)武進士、襲錦衣千戶、官至都督同知。／「在童年有成人之志、弱冠以應襲補京衛武學弟子、每試輒高等」、「然不廢文業、雅好讀書、又喜爲歌詩。時時招四方騷人墨客、結爲社友、宴飲之間、篇章爛然」(明・孫鑑撰「榮祿大夫錦衣衛事後軍都督府督同知贈右都督從兄劍峰公鉉行狀」[明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一〇七])。	
	『思則堂前後稿』	●明・孫鑑撰「榮祿大夫錦衣衛事後軍都督府督同知贈右都督從兄劍峰公鉉行狀」(明・焦竑輯『國朝獻徵錄』卷一〇七) 所著有『思則堂稿』四卷、行於世。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 孫鉉『思則堂前後稿』。堪子。累遷都督同知。
54: 高儒	(嘉靖年間) 字子醇、號百川子、河北涿州人。高榮之子。／錦衣衛指揮。／「叨承祖蔭、致身武弁」(高儒撰「百川書志序」)。「(父高榮曰)『爾母[母]之誤』廢謔讀、有受用處」、「以故備雖靡武、而能博極群書、旁通詩賦、且探究諸兵家方略、武料之□□□□□□」(明・杜旻撰「□□□□□□」[明故鎮國將]軍錦衣指揮使高公配淑人左氏合葬墓誌銘)、『新中國出土墓誌』北京卷、二四九、中國文物研究所編、文物出版社、1994年)。 ※□は破損箇所。文脈に鑑みて本文を補った。	
	『百川書志』	★『續修四庫全書』第九一九冊『百川書志』二十卷 明 高儒 撰 嘉靖庚子(十九年、1540)自序 上海辭書出版社圖書館藏觀古堂書目叢刊本
55: 戴經	(嘉靖年間) 授錦衣衛千戶、歷官衛僉事。	

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
	『戴楚望詩集』	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 戴經『戴楚望詩集』□卷。以王家從世宗入繼大統、授錦衣衛千戶、歷官衛僉事、在錦衣常護視詔獄諸人、從蕭豹受經於獄中、一時士大夫皆稱其賢。
56 李釜	(嘉靖年間) / 備倭署都指揮僉事。 ※『世宗實錄』卷三〇六(嘉靖二十四年〔1545〕十二月)壬寅に事蹟。 『兩浙戰船則例』	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷八「地理類下」 李釜『兩浙戰船則例』。備倭都指揮。
57 施經	(嘉靖年間?) 字引之、杭州衛千戶。 / 「吳東升、杭州前衛百戶。善詩、與劉士亨諸名士相倡和。…嘉靖時、又有百戶施經者、藝菊苦吟、草書清勁、類其人」(清・魏嶠 / 裘琬撰『[康熙] 錢塘縣志』[清康熙五十七年刻本] 卷二十六「人物、吳東升」)。 『虎泉集』四卷	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 施經『虎泉集』四卷。字引之、杭州衛千戶。
58 陳鳳	(嘉靖年間?) 杭州衛指揮。 ※『世宗實錄』卷二九四(嘉靖二十四年〔1545〕正月)己酉などに同名人物が見えるが、杭州衛指揮との記載は無い(官職は綏德衛指揮同知、署都指揮僉事充大同遊擊將軍、延綏參將、綏副總兵、署都督僉事掛印充總兵官鎮守大同など)。同一人物か不明。 『青芝山人吟稿』二	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 陳鳳『青芝山人吟稿』二卷。杭州衛指揮。
59 沈麟	(嘉靖年間) / 錦衣衛千戶。 / 「初錦衣衛千戶沈麟奉請、命官校勘歷代史書、刊布天下。上嘉其志、下禮部議。至是尚書方獻夫等言、「史書多殘缺、必翻刻而後可垂示久遠。若五代以上諸史、惟宋板爲工、多善于江南富民之家。宜命官購索、付之梓。」上曰、「翻刻書籍、雖係右文之事、但差官購索民間古板、未免騷擾、反滋奸弊、姑已之。第令南京禮工二部、將南京國子監所存舊板、用心翻閱修補、以便傳布」(『世宗實錄』卷九五七〔嘉靖七年十一月〕庚戌)。 『歷代帝王詩集』四卷 『唐詩世紀』(=『唐詩行世紀』?) 五卷	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷三十一「總集類、詩」 沈麟『歷代帝王詩集』四卷。嘉靖間錦衣衛千戶。 ※同一人物の著作か不明。 ●『明史』卷九十九「志七十五、藝文四、集類、文史類」 沈麟『唐詩世紀』五卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷三十二「文史類」 沈麟『唐詩行世紀』五卷。一作沈麟。
60 鄧子龍	(?-1598?) 字武橋、豐城人。 / 嘉靖中應有司募、累功授廣東把總、擢署都指揮僉事、掌浙江都司、副總兵、署金山參將事。 / 「萬曆壬辰(二十年、1592) 關白陷朝鮮、詔子龍提浙直水師進剿、凡七日連破諸島」(清・何士錦修・陸履敬纂『[康熙] 豐城縣志』[清康熙三年刻本] 卷十一「鄧子龍」)。「(萬曆) 二十六年(1598)、朝鮮用師。詔以故官領水軍、從陳璘東征。倭將渡海遁、璘遣子龍偕朝鮮統制使李舜臣督水軍千人、駕三巨艦爲前鋒、邀之釜山南海。子龍素慷慨、年踰七十、意氣彌厲。欲得首功、急搆壯士二百人躍上朝鮮舟、直前奮擊、賊死傷無算。他舟誤擲火器入子龍舟、舟中火、賊乘之、子龍戰死」(『明史』卷二四七「列傳一三五、鄧子龍」)。「[平生善書、喜吟咏、可與咸繼光・陳第並傳」(清・陳田輯『明詩紀事』卷二十四庚籤「鄧子龍二首」)。 『橫戈集』	●清・陳田輯『明詩紀事』庚籤卷二十四「鄧子龍二首」 有『橫戈集』一卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十六「別集類、萬曆」 鄧子龍『橫戈集』。字武橋、豐城人。官副總兵。死日本關白之難。
	『陳法直指』一卷	※同一人物の著作か未確認。 ★清・黃模編『遜敏堂叢書』[陳法直指] 一卷 明 鄧子龍 撰
61 郭遇卿	(1527-1607) 字建安、號肖雲、福清人。郭萬程之子。 / 初爲諸生、以功歷官至都指揮使。 / 「早歲籍諸生、即有名、爲文章浩蕩雄深、酷似秦漢間言、七試棘闈、俺收者」(明・葉向高撰「閩都閩肖雲郭公墓志銘」[『蒼霞餘草』卷九])。「諸生時、即以韜略自負。嘉靖末、倭掠福唐、鳩義兵禦之、手殲渠魁。威將軍繼光甚重之」(清・舒其紳修 / 林昂纂『[乾隆] 福清縣志』[清光緒二十四年刻本] 卷十四「武功、明、郭遇卿」)。 『龍洞集』五卷	●清・舒其紳修 / 林昂纂『[乾隆] 福清縣志』[清光緒二十四年刻本] 卷十四「武功、明、郭遇卿」 所著有『龍洞集』五卷、藏于家。
	『龍洞居士集』二十卷	●明・葉向高撰「閩都閩肖雲郭公墓志銘」[『蒼霞餘草』卷九] 所著有『龍洞居士集』二十卷・『薊昌圖說』六卷・『車戰考』四卷、藏于家。
	『薊昌圖說』六卷	●同上(『蒼霞餘草』)
	『車戰考』四卷	●同上(『蒼霞餘草』)

名 前	略 歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
62. 戚繼光	(1528-1587) 字元敬、號南塘、晚號孟諸、登州人。戚景通之子。／世襲登州衛千戶、以參將備倭、以副總兵鎮福建、都督同知・薊鎮總兵、進左都督、加少保。／「少折節爲儒、通曉經術。軍中籌燈讀書、每至夜分。戎事少閒、登山臨海、綬帶賦詩。罷鎮歸、過吳門、角巾布袍、偕二三文士、攜手徒步、人莫知爲故將軍也」(清・錢謙益輯《列朝詩集》丁集中「戚少保繼光」)。	
『止止堂集』	●清・錢謙益輯《列朝詩集》丁集中「戚少保繼光」詩文有「止止堂集」、其在浙則有「紀効〔ママ〕新書」、在薊則有「練兵實紀」、兵家奉爲金科玉條、可以垂之百世者也。 ●清・朱彝尊編《明詩綜》卷四十九「戚繼光二首」有「止止堂集」。	
『橫槊稿』三卷	●清・黃虞稷撰《千頃堂書目》卷二十三「別集類、嘉靖」戚繼光「止止堂集」三卷。又「橫槊稿」三卷。又「愚愚稿」一卷。字元敬、登州人。世襲衛千戶、薊遼總兵、進左都督、加少保。卒諡武毅。 ★『四庫全書存目叢書』集部 第一四六冊「止止堂集」五卷 明 戚繼光 撰 吉林省圖書館藏清光緒十四年山東書局刻本 ★漢籍データベース 「止止堂集」殘三卷 明 戚繼光 撰 昭和五十五年 本所 用臺北國立中央圖書館藏萬曆十四年序刊本景照 京大人文研 東方	
『愚愚稿』一卷	●『明史』卷九十九「志七十五、藝文四、集類、別集類」戚繼光「橫槊稿」三卷。 ●同上(『千頃堂書目』卷二十四)	
『禪家六籍』十六卷	●同上(『千頃堂書目』卷二十四) ★漢籍データベース 「止止堂集」[橫槊稿]三卷「愚愚稿」二卷 明 戚繼光 著 山東書局 清光緒十五年序 刊 東京都立 中央	
『紀效新書』	●『明史』卷九十八「志七十四、藝文三、子類、釋家類」戚繼光「禪家六籍」十六卷。 ●同上(『列朝詩集』) ●『明史』卷九十八「志七十四、藝文三、子類、兵書類」戚繼光「紀效新書」十四卷・「練兵實紀」九卷・「雜集」六卷・「將臣寶鑑」一卷。 ●同書卷二二「列傳一〇〇、戚繼光」所著「紀效新書」・「練兵紀實〔ママ〕」、談兵者適用焉。 ●清・黃虞稷撰《千頃堂書目》卷十三「兵書類」戚繼光「紀效新書」十四卷。又「練兵實紀」九卷。『雜集』六卷。又「將臣寶鑑」一卷。 ★『欽定四庫全書』第七二八冊 子部 第三十四冊「紀效新書」十八卷 首一卷 明 戚繼光 撰 ★漢籍データベース ①「紀效新書」十八卷 首一卷 明 戚繼光 明萬曆二十三年序 刊 公文書館 ②「紀效新書」十八卷 首一卷 明 戚繼光 撰 萬曆二十三年 江氏明雅堂 刊本 東大東文研 ③「紀效新書」十四卷 明 戚繼光 明萬曆 版 前田育徳會 ④「紀效新書」十四卷「附録」一卷 明 戚繼光 撰 渡邊是保 訂 弘化二年(1845) 刊 弘化三年(1846) 和泉屋善兵衛 印 宮城縣圖・館林市立・二松學舎 ⑤「紀效新書」十六卷 明 戚繼光 撰 寛政十年(1798) 江都青藜閣 刊本 市立米沢	
『紀效新書節要』	★漢籍データベース 「紀効〔ママ〕新書節要」板本 明 戚繼光 撰 大阪府立 中之島	
『練兵實紀』九卷	●同上(『列朝詩集』・『明史』卷九十八・『千頃堂書目』卷十三) ★『欽定四庫全書』第七二八冊 子部 第三十四「練兵實紀」九卷「雜記」六卷 明 戚繼光 撰 ★『叢書集成初編』0948-0950 社會科學類 軍事學「練兵實紀」九卷「雜集」六卷 明 戚繼光 撰 據墨海金壺本排印 ★漢籍データベース ①「練兵實紀」九卷 明 戚繼光 撰 萬曆刊 國會圖書館攝製北平圖書館善本書膠片 國會 ②「練兵實紀」九卷 明 戚繼光 明 版 前田育徳會 ③「練兵實紀」九卷「雜集」六卷 明 戚繼光 明 刊 公文書館 ④「練兵實紀」九卷「雜集」六卷「類抄」十五卷 明 戚繼光 撰 明 鈔本 宮内庁書陵部 ⑤「練兵實紀」九卷「練兵實紀雜集」六卷 明 戚繼光 清 刊 吳之勳 東京都立中央	

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
	『雑集』記』六卷	●同上（『明史』卷九十八・『千頃堂書目』卷十三） ★漢籍データベース（同上）
	『將臣寶鑑』一卷	●同上（『明史』卷九十八・『千頃堂書目』卷十三）
	『兵學指南』五卷（診解）	★漢籍データベース 『兵學指南』五卷（診解）明 戚繼光 撰 朝鮮 韓權 抄節診解 朝鮮 張志恆 頭注 朝鮮 明名 改訂輯 朝鮮（清乾隆五十二年）刊本 東洋文庫
	『（増訂）武備新書』十四卷	●『欽定四庫全書總目提要』卷一〇〇「子部十、兵家類存目、武備新書」十四卷 舊本題明戚繼光撰。與繼光『紀效新書』大同小異、仍冠以繼光「紀效新書序」。其「手足篇」中火器諸圖下、題曰「崇禎庚午（三年、1630）仲秋、羽南彭翔謹錄秘藏」。考繼光卒於萬曆丁亥（十五年、1587）、則必非繼光手著矣。 ★漢籍データベース ①『増訂武備新書』十四卷 明 戚繼光 明 萬曆 版 前田育徳會 ②『増訂武備新書』十四卷 明 戚繼光 編『武備全書』第十三至二十冊 公文書館
	『戚將軍練兵日記』十二卷	★漢籍データベース 『戚將軍練兵日記』十二卷 明 戚繼光 撰 明 姚錫禧 編 明 倪越素 同校 明 蘇雅霖 同校 日本 鈔本 東大總
	『新編皇明戚將軍將略略略世法』	★漢籍データベース 『新編皇明戚將軍將略略略世法』卷下 明 戚繼光 纂輯 明 王世貞 訂正 武書大全 諸子兵法第十三冊 國會
	『武經將略』	★漢籍データベース ①『武經將略』明 戚繼光 驪珠武經大全 前田育徳會 ②『鎬中興運掌百勝戰法』二卷 即『三軍百戰百勝奇法彙編』『武經將略』一卷 明 戚繼光 明年 刊 公文書館
	『武經總要前集』二十二卷・『武經總要後集』二十一卷	★漢籍データベース 『武經總要前集』二十二卷『武經總要後集』二十一卷 均『武經總要百戰奇法前後集』均『武經總要行軍須知』二卷 明 戚繼光 撰 人未詳武經總要百戰奇法前後集武經總要行軍須知 明 萬曆 版 前田育徳會
	『洪尚書重補戚少保南北平定略』三卷【集】	★漢籍データベース ①『洪尚書重補戚少保南北平定略』三卷 明 戚繼光 撰 明 郭應響 補 明 洪承疇 重參 明 余璟 訂定『古將平定略明將平定略』蓬左文庫 ②『洪尚書重補戚少保南北平定略』三卷『古陣法定略』一卷 明 戚繼光 撰 明 郭應響 補 明（萬曆）刊 公文書館
	『莅戎要略』一卷	●『欽定四庫全書總目提要』卷一〇〇「子部十、兵家類存目、莅戎要略」一卷 舊本題明戚繼光撰。即『練兵實紀』中之修約也。或先有此冊、後乃載入書中、或後人於書中鈔出別行、則均不可知矣。 ★清・曹溶編『學海類編集錄』二事功『莅戎要〔ママ〕略』一卷 明 戚繼光 撰
	『重訂批點練兵諸書』十八卷	★漢籍データベース 『重訂批點練兵諸書』十八卷 明 戚繼光 明 版 前田育徳會
	『類輯練兵諸書』十八卷	★漢籍データベース 『類輯練兵諸書』十八卷 明 戚繼光 明 刊 公文書館
『鎬中興運掌百勝戰法』二卷	★漢籍データベース 『鎬中興運掌百勝戰法』二卷 即『三軍百戰百勝奇法彙編』『武經將略』一卷 明 戚繼光 明年 刊 公文書館	
『戚少保文集』四卷	★明・陳子龍撰『皇明經世文編』卷三四六～三五〇「戚少保文集」明 戚繼光	
63 萬達甫	<p>（嘉靖～萬曆年間？）字仲章、號純初、籍於杭。萬表之子。／襲職爲指揮僉事、福建都司僉書、廣東海防參將。／「達甫籍於杭、補弟子員、襲職爲指揮僉事」（龔嘉儀修／李榕纂『〔民國〕杭州府誌〕〔民國十一年鉛印本〕卷一八八「人物二、武功二、明、萬達甫（陳口華撰墓志）」。「表雖將家子、而篤好詞翰。達甫承其淵源、亦善吟咏」（『欽定四庫全書總目提要』卷一八〇「集部三十三、別集類存目七、皆非集」二卷附「一枝軒吟草」二卷）。 ※「神宗實錄」卷四十八（萬曆四年〔1576〕三月）乙未～卷八十六（七年〔1579〕四月）丁亥之事蹟。</p>	
『皆非集』二卷	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 萬達甫『皆非集』二卷。字仲章、鄞縣人、表子。 ●『欽定四庫全書總目』卷一七六「集部二十九、別集類存目三、玩鹿亭稿」八卷・「附錄」一卷 明萬表撰。…乃其子達甫所編。其孫邦孚所刊。達甫有『皆非集』、邦孚有『一枝軒藁』、皆能傳其家學云。</p>	

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
		<p>●『欽定四庫全書總目提要』卷一八〇〔集部三十三、別集類存目七、皆非集〕二卷・附『一枝軒吟草』二卷 明萬達甫撰。達甫、字仲章、號純初、鄞縣人。都督僉事表之子。少襲世職、官至廣東海防參將。表雖將家子、而篤好詞翰。達甫承其淵源、亦善吟咏。此集其詩稿也。未附『一枝軒吟草』、乃其子邦孚所作、僅五十餘首。邦孚亦以世蔭、官至福建總兵官、左軍都督府僉事。</p> <p>★『四庫全書存目叢書』集部 第一八七冊『皆非集』二卷 增『一枝軒吟草』一卷 明 萬達甫 撰 明 萬邦孚 撰 附 浙江圖書館藏清初萬世標刻本</p> <p>★漢籍データベース 『皆非集』二卷 增『一枝軒吟草』一卷 明 萬達甫 撰 萬曆刊 國會圖書館攝製北平圖書館善本書膠片 國會</p>
64 李言恭	(1541-1599) 字惟寅、號青蓮居士、盱眙人。李景隆之七世孫。／襲封臨淮侯、環衛侍直、留守陪京、加太保。／「李氏自岐陽父子、已好文墨、親近文士。惟寅沿襲風流、奮跡詞壇、招邀名流、折節寒素。兩都詞人游客、望走如鶩。子宗城、字惟蕃、亦有文好事、東封之役、奉使不終。家于金陵、賦詩結社、徵歌選妓、有承平王孫之風」(清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集上「李臨淮言恭」)。「惟寅弱冠有儁才、好爲詩歌、聲藉甚、折節下士、士爭千里外赴之。當是時臨淮小侯名聞天下。…惟寅告今夫詩歌者、士大夫不得志、無所見而見之辭、而所謂慷慨下士者、皆吾肝膽忠義之餘也」(明・王世懋撰『贈李惟寅襲臨淮侯序』)(『王奉常集』文部卷五)。	
	『青蓮閣集』六卷	<p>●清・朱彝尊編『明詩綜』卷四十九「李言恭六首」 有『青蓮閣』・『貝葉齋』・『游燕』詩集。</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 李言恭『青蓮閣集』十卷。又『貝葉齋稿』四卷。又『游燕集』□卷。字惟寅、岐陽武靖王裔孫。襲封臨淮侯、環衛侍直、留守陪京、加太保。</p> <p>★『四庫全書存目叢書』第五輯 第二十三冊『青蓮閣集』十卷 明 李言恭 撰</p> <p>★漢籍データベース 『青蓮閣集』十卷 明 李言恭 明萬曆二十三年序 刊 公文書館</p>
	『貝葉齋稿』	●同上(『明詩綜』・『千頃堂書目』)
	『游燕集』	●同上(『明詩綜』・『千頃堂書目』)
	『白雪齋詩集』二卷	<p>★『和刻本漢詩集成』(汲古書院、1974~79年)第十八輯補篇二『白雪齋詩集』二卷 明 李言恭 撰 明 胡應麟 輯 日本 柳澤里基 點 寶曆三年京都錢屋七郎兵衛覆明壽州朱汝修刊本</p> <p>★漢籍データベース 『白雪齋詩集』二卷 明 李言恭 撰 明 胡應麟 編 寶曆三年 刊 公文書館</p>
	『日本考』五卷	<p>●『明史』卷九十七「志七十三、藝文二、史類、地理類」 李言恭『日本考』五卷。</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷八「地理類下」 李言恭『日本考』五卷。少保都御史郝杰同撰。</p> <p>●『欽定四庫全書總目提要』卷七十八「史部三十四、地理類存目七、日本考』五卷」 明李言恭・都〔ママ〕杰同撰。言恭、字惟寅、岐陽武靖王文忠之裔、以萬曆二年襲封臨淮侯。杰、字彥輔、蔚州人、嘉靖丙辰進士、官至南京兵部尚書。方言恭督京營參政時、杰爲右都御史、會倭患方劇、乃共據所聞爲此書。記其山川・地理及世次・土風、而於字書譯語、臚載尤詳。後倭陷朝鮮、封貢議起、杰以力爭不合、徙南京。而言恭子宗城、卒爲石星所薦、充正使往封、至釜山而倭情中變、易服逃歸、被劾論戍。蓋徒待紙上空言、宜其不能悉知情僞也。</p> <p>★『四庫全書存目叢書』史部 第二五五冊『日本考』五卷 明 李言恭 撰 明 郝杰 撰 國立北平圖書館善本叢書影印明萬曆刻本</p> <p>★『續修四庫全書』第七四四冊『日本考』五卷『圖』一卷 明 李言恭 同撰 明 郝杰 同撰 民國二十六年上海商務印書館景印國立北平圖書館善本叢書第一集萬曆中刊本</p>
	『鬼谷子』三卷	<p>★漢籍データベース 『鬼谷子』三卷 周 鬼谷子 撰 漢 劉向 注 明 李言恭 校 明刊 公文書館</p>
	『穆天子傳』六卷	<p>★Cinii ※李言恭校訂、子の李宗城校梓。 『穆天子傳』六卷(晉)郭璞註;(明)李言恭訂 名古屋大學附屬圖書館 東山キャンパス 文學部本館1階 『穆天子傳序』末・各卷末に「萬曆仁午春盱眙李宗城汝藩於青蓮閣校梓」。版心下部に「青蓮閣」。「序」(至正十年王漸玄翰序)・「穆天子傳序」(荀蔚?撰)を付す。</p>
	『李公子集』一卷	★明・俞憲編『盛明百家詩後編』第七十八冊「李公子集」一卷 明 李言恭 撰

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
65 陳第	(1544-1620) 字季立、號一齋、連江人。／初爲諸生、歷薊鎮遊擊將軍、居薊鎮者十年。／「爲學官弟子、教授清漳、生徒雲集。兪都督大猷、召致幕下、教以古今兵法、南北戰守方略、盡得其指要」、(第)歎曰、「吾投筆從戎、頭顱盡白、思傾洒一腔熱血、爲國家定封疆大計、而今不可爲矣。吾仍爲老書生耳。」遂拂袖歸里、(季立不得繼兪・戚之後、登壇爲名將、卒爲名儒以終。其學通五經、尤長于詩・易、論兵學・論文章、皆鑿鑿有根據)(清・錢謙益輯《列朝詩集》丁集中「陳將軍第」)。	
『寄心集』六卷		<ul style="list-style-type: none"> ●『明史』卷九十九「志七十五、藝文四、集類、別集類」陳第「寄心集」六卷。 ●清・錢謙益輯《列朝詩集》丁集中「陳將軍第」萬曆辛亥（三十九年、1611）、年七十有一、彙其四言・五言古詩爲一帙、命曰「寄心集」。 ●清・朱彝尊編《明詩綜》卷五十四「陳第十二首」有「寄心集」・「五岳・兩粵遊草」。 ●清・黃虞稷撰《千頃堂書目》卷二十三「別集類、嘉靖」陳第「寄心集」六卷。又「五岳」・「兩粵遊草」[一作「五岳」七卷・「兩粵遊草」二卷]。又「薊門塞曲」一卷。字季立、號一齋、連江人。少爲諸生、兪大猷知其才、召置幕下、言於譚綸。綸一見曰、「兪・戚流亞也」。守備古北口、歷遊擊將軍。第深於經學、所著多有別見。 ★『四庫全書存目叢書』集部 第一七八冊『兩粵遊草』一卷『寄心集』六卷『五嶽遊草』七卷 明 陳第 撰 福建省圖書館藏明萬曆會山樓刻一齋集本 ★漢籍データベース『寄心集』六卷 明 陳第 撰 一齋集 京大人文研 東方
『五嶽遊草』		<ul style="list-style-type: none"> ●同上（『明詩綜』・『千頃堂書目』卷二十三） ★『四庫全書存目叢書』集部 第一七八冊（『寄心集』に同じ） ★漢籍データベース『五嶽遊草』七卷「一齋陳先生考終錄」一卷 明 陳第 撰 昭和四十一年 本所用東京内閣文庫藏萬曆四十五年序刊本景照 京大人文研 東方
『兩粵遊草』		<ul style="list-style-type: none"> ●同上（『明詩綜』・『千頃堂書目』卷二十三） ★『四庫全書存目叢書』集部 第一七八冊（『寄心集』に同じ） ★漢籍データベース『兩粵遊草』一卷 明 陳第 撰 昭和五十五年 本所用臺北國立中央圖書館藏萬曆二十九年宛陵沈氏與塞曲粵草合刊本景照 京大人文研 東方
『薊門塞曲』一卷		<ul style="list-style-type: none"> ●同上（『千頃堂書目』卷二十三） ★漢籍データベース『薊門塞曲』一卷『雜文』一卷 明 陳第 撰「一齋集」京大人文研 東方
『伏羲圖贊』[附『雜卦傳古音考』一卷]		<ul style="list-style-type: none"> ●『明史』卷九十六「志七十二、藝文一、經類、易類」陳第「伏羲圖贊」二卷。 ●清・黃虞稷撰《千頃堂書目》卷一「易類」陳第「伏羲圖贊」六卷。 ●『欽定四庫全書總目提要』卷八「經部八、易類存目二、伏羲圖贊」二卷 明陳第撰。…是書上卷於奇耦之數、皆以黑白爲「分」陰陽、兩儀・四象・八卦、皆規方而爲圓。 ★『四庫全書存目叢書』經部 第二十二冊『伏羲圖贊』二卷 增『雜卦傳古音考』一卷 明 陳第 撰 上海圖書館藏明萬曆會山樓刻一齋集本 ★漢籍データベース①『伏羲圖贊』二卷 明 陳第 明 焦竑 訂 明萬曆 版 宮内庁書陵部②『毛詩古音考』四卷『讀詩拙言』一卷 增『屈宋古音義』三卷 增『伏羲圖贊』二卷 增『雜卦傳古音考』一卷 明 陳第 撰 萬曆三十四年自序 刊本 屈宋古音義 萬曆四十一年自序 刊 伏羲圖贊 萬曆三十七年跋 刊 京大人文研 東方
『毛詩古音考』四卷		<ul style="list-style-type: none"> ●『明史』卷九十六「志七十二、藝文一、經類、詩類」陳第「毛詩古音考」四卷。 ●清・錢謙益輯《列朝詩集》丁集中「陳將軍第」撰著甚富、「毛詩古音考」、其一也。 ●清・黃虞稷撰《千頃堂書目》卷一「詩類」陳第「毛詩古音考」四卷。字季立、連江人。爲諸生教授、清漳大猷一見奇之、召置幕下、勸以武自奮、薦之譚綸。綸亦奇之曰、「兪・戚流亞也。」起家京營、出守古北口、官遊擊將軍、居薊鎮。與戚繼光論兵、復相善。其後譚死戚去、第與後來開府者不合、棄官歸。開修撰焦竑好學、往金陵從之遊、離經析疑、叩擊累年。竑以爲不如也。第學通五經、而尤長於詩易、「古音考」一書、發前人未竟之意義、尤爲學者所推。萬曆三十四年丙午序。 ★『欽定四庫全書』第二三九冊 經部 二三三「毛詩古音考」四卷 明 陳第 撰 ★漢籍データベース（『伏羲圖贊』）

名 前	略 歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
	『屈宋古音義』三卷 (=『屈宋古音考』 一卷・『附録』一卷 ?)	●『明史』卷九十九「志七十五、藝文四、集類、總集類」 陳第『屈宋古音義』三卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷三十一「騷賦類」 陳第『屈宋古音義』三卷。 ●『欽定四庫全書總目提要』卷四十二「經部四十二、小學類三、『屈宋古音義』 三卷」 明陳第撰。第既撰『毛詩古音考』、復以『楚辭』去風人未遠、亦古音之遺、乃取 屈原所著「離騷」等二十五篇、除其「天問」一篇、得二十四篇。又取宋玉「九 辯」九篇、「招魂」一篇、益以『文選』所載「高唐賦」・「神女賦」・「風賦」・「登 徒子好色賦」四篇、得十四篇。共三十八篇。其中韻與今殊者二百三十四字、各 推其本音、與『毛詩古音考』、互相發明。 ★『欽定四庫全書』第二三九冊 經部二三三『屈宋古音義』三卷 明 陳第 撰 ★漢籍データベース ①『屈宋古音義』三卷 明 陳第 撰 萬曆四十二年 刊本 東大東文研 ②『屈宋古音考』一卷『附録』一卷 明 陳第 撰 明 焦竑 閱 同治十一年 古澤 余氏刊本 阪大總
	『尚書疏衍』四卷	●『明史』卷九十六「志七十二、藝文一、經類、書類」 陳第『尚書疏衍』四卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷一「書類」 陳第『尚書疏衍』四卷。 ●『欽定四庫全書總目提要』卷十二「經部十二、書類二、尚書疏衍』四卷」 明陳第撰。…是書前有第自序、稱、「少受『尚書』、讀經不讀傳註、口誦心維、 得其意、於深思者頗多」。 ★『欽定四庫全書』第六十四冊 經部五十八『尚書疏衍』四卷 明 陳第 撰 ★漢籍データベース 『尚書疏衍』四卷 明 陳第 江戶 寫 公文書館
	『意言』一卷	★漢籍データベース 『意言』一卷 明 陳第 撰『一齋集』京大人文研 東方
	『書札燼存』一卷	★漢籍データベース 『書札燼存』一卷 明 陳第 撰 明 刊本 東洋文庫
	『薊門兵事』二卷	★漢籍データベース 『薊門兵事』二卷 明 陳第 撰『一齋集』京大人文研 東方
	『謬言』一卷	★漢籍データベース 『謬言』一卷 明 陳第 撰『一齋集』京大人文研 東方
	『讀詩拙言』一卷	★『百部叢書集成』四十六 學津討原『讀詩拙言』一卷 明 陳第 撰 ★漢籍データベース 『毛詩古音考』四卷『讀詩拙言』一卷 明 陳第 撰 萬曆三十四年 刊本 神戸大
	『世善堂藏書目錄』 二卷	★『續修四庫全書』第九一九冊『世善堂藏書目錄』二卷 明 陳第 藏並撰 乾隆 六十年鮑氏刊知不足齋叢書本
	『一齋集』	★『四庫禁燬書叢刊』集部『一齋集』三十五卷 明 陳第 撰 萬曆中會山樓刊本
	66 李應祥	(嘉靖～萬曆年間) 湖廣九谿衛人。／以武生從軍、積功至廣西思恩參將、署都督僉事、五軍營副將、南 京左軍都督府僉書、四川總兵官、南京右軍都督府僉書、都督同知。／「應祥爲將、謀勇兼資、所至奏 績。平蜀三大寇、功最多」(『明史』卷二四七「列傳一三五、李應祥」)。 ※『穆宗實錄』卷七十(隆 慶六年(1572)五月) 丙午～卷三七五(萬曆三十年(1602)八月) 癸巳に事蹟。 『雍勝略』二十四卷 ●『明史』卷九十七「志七十三、藝文二、史類、地理類」 李應祥『雍勝略』二十四卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷七「地理類中」 李景「ママ」祥『雍勝略』二十四卷。 ★漢籍データベース 『雍勝略』二十四卷 明 李應祥 同撰 明 俞安期 同撰 昭和五十九年 本所 用臺 北國立中央圖書館藏萬曆二十五年咸寧徐氏刊本景照 京大人文研 東方
67 王尚文	(嘉靖～萬曆年間) 號寶岡、真定縣人。／嘉靖壬戌(四十一年、1562〔一作壬辰〕)武進士、署都指 揮僉事、杭嘉湖參將、副總兵官鎮守江南、充參將、陞南京後軍都督府僉書、充總兵官鎮守福建、廣西 總兵。 ※『穆宗實錄』卷二十(隆慶二年(1568)五月) 戊午～「神宗實錄」卷二五五(萬曆二十年 [1592]十二月) 辛卯に事蹟。 『盡心堂稿』十卷 ●明・徐燭撰『徐氏家藏書目』卷七「別集類、南京、臺州府」 王尚文『盡心堂稿』十卷。號寶岡、真定縣人。嘉靖壬戌(四十一年、1562)武 進士第二人。萬曆〔井口注：曆の誤〕初福建都督總兵官。	

名 前	略 歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
68: 楊俊卿		●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十三「別集類、嘉靖」 王尚文『盡心堂稿』十卷。真定縣人。嘉靖壬辰（十一年、1532）武會試、福建總兵官。
	『征南〔讞〕紀略』一卷	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷五「別史類」 王尚文『征南〔一作讞〕紀略』一卷。萬曆間尚文爲後軍都督同知。征勦廣西十寨事略。
	『介石樓藏稿』十卷	●明・徐顯卿撰『明錦衣衛管衛事左軍都督府都督同知贈右都督介菴楊公墓表』（『天遠樓集』卷十七「墓表」） 公所著『介石樓藏稿』十卷・『姚墟纂異』十二卷・『紀事錄』六卷。
	『姚墟纂異』十二卷 『紀事錄』六卷	●同上（『天遠樓集』） ●同上（『天遠樓集』）
69: 王有麟		（嘉靖～萬曆年間）晉江人。／萬曆甲戌（二年、1574）武進士、雙海把總、甘肅標兵、中軍坐營都司、福建參將。／「官至參將、歸閩門讀書」（明・何喬遠纂『〔崇禎〕閩書』（明崇禎刻本）卷一二四「弁駘志、泉州府晉江縣、皇朝、王有麟」）。 ※『神宗實錄』卷一五七（萬曆十三年〔1585〕正月）壬辰～卷二八六（萬曆二十三年〔1595〕六月）庚申に事蹟。
	『蕃德編』	●明・何喬遠纂『〔崇禎〕閩書』（明崇禎刻本）卷一二四「弁駘志、泉州府晉江縣、皇朝、王有麟」 王有麟、登萬曆甲戌武榜。初任雙海把總、善治兵、有戰功、耻媿事、當路屢起屢贖、官至參將、歸閩門讀書、所著有『蕃德編』・『百將傳補遺』・『古今戰守攻圍兵法』六十卷。曰、「叨國家厚恩、無以報、努力爲此。即不獲用、他人用之、亦所以報朝廷也」。
	『百將傳補遺』	●同上（『〔崇禎〕閩書』） ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十三「兵家類」 王有麟『百將傳補遺』。又『古今戰守攻圍兵法』六十卷。晉江人。萬曆甲戌武進士、官參將。
	『古今戰守攻圍兵法』六十卷	●同上（『〔崇禎〕閩書』・『千頃堂書目』） ●『明史』卷九十八「志七十四、藝文三、史類、兵書類」 王有麟『古今戰守攻圍兵法』六十卷。
70: 黃應甲		（嘉靖～萬曆年間）字汝第、號兩湖道人、懷寧人。／嘉靖壬戌（四十一年、1562）武舉、歷官都督僉事。 ※『穆宗實錄』卷二十四（隆慶二年〔1568〕九月）壬申～『神宗實錄』卷二四一（萬曆十九年〔1591〕十月）乙巳に事蹟。
	『兵法節略』（=「軍節略」？）	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十三「兵家類」 黃應甲『兵法節略』。字汝第、懷寧人。嘉靖壬戌武舉、破廣西古田賊有功、歷官都督僉事。 ●清・張楷纂修『（康熙）安慶府志』（清康熙六十年刻1961年石印本）卷十九「武功傳、懷寧、明」 黃應甲、字汝第。少習熟略、善騎射、爲百夫長。嘉靖乙卯夏、倭突蕪關、（井口補）：應）甲以一旅禦之。…後晉大都督驍騎將軍、世襲指揮僉事。力求歸進、進西湖之間、號兩湖道人。所著有『軍節略』・『博愛心鑑』・『兵書』。子安聲嗣。
	『博愛心鑑』	●同上（『（康熙）安慶府志』）
	『兵書』	●同上（『（康熙）安慶府志』）
71: 杜文煥		（萬曆～崇禎年間）字汝武、榆林人。／由蔭敘歷延綏遊擊將軍、累進參將、中軍副總兵、延綏總兵官、寧夏總兵官、都督同知、四川總兵。 ※『神宗實錄』卷四六二（萬曆三十七年〔1609〕九月）乙巳～『崇禎實錄』卷五「懷宗端皇帝五」（崇禎五年〔1632〕二月）丙子に事蹟。
	『太霞洞集』三十二卷（=「太霞集」？）	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十八「別集類、崇禎」 杜文煥『太霞洞集』。字汝武、榆林人。太子太保、左都督、總兵官。 ●清・萬斯同撰『明史』卷一三七「藝文五、集部下、別集類」 杜文煥『太霞集』。字汝武、榆林人。太子太保、左都督、總兵官。

名 前	略 歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
		<ul style="list-style-type: none"> ●清・陳田輯『明詩紀事』庚籤卷二十四「杜文煥五首」有『太霞洞集』三十二卷。 ★漢籍データベース ●『太霞洞集』三十二卷 增『藝極』一卷 增『雜序』一卷 明 杜文煥 撰 天啓刊 國會圖書館攝製北平圖書館善本書膠片 國會
72: 萬邦孚	<p>(萬曆～崇禎年間) 字汝永、號瑞巖、鄞縣人。萬表之孫。○初爲諸生、嗣世職爲指揮、福建總兵官、左軍都督府僉事。○「弱冠爲諸生」、「(天啓末) 遂引疾歸。從弟邦寧、攻詩文、善書法」(清・曹秉仁纂『雍正』寧波府誌) (清雍正十一年修、乾隆六年補刊本) 卷二十「人物」)。</p>	
	「一枝軒稿」(=「一枝軒吟草」?)	<ul style="list-style-type: none"> ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十六「別集類、萬曆」萬邦孚『一枝軒稿』□卷。字汝前[ママ]、表孫。萬曆間官都督僉事、漕運總兵官。 ●『欽定四庫全書總目提要』卷一八〇「集部三十三、別集類存目七、皆非集」二卷・附「一枝軒吟草」二卷 明萬達甫撰。…末附「一枝軒吟草」、乃其子邦孚所作、僅五十餘首。邦孚亦以世蔭、官至福建總兵官、左軍都督府僉事。 ★『四庫全書存目叢書』集部 第一八七冊「皆非集」二卷 增「一枝軒吟草」一卷 明 萬達甫 撰 明 萬邦孚 撰附 浙江圖書館藏清初萬世標刻本 ★漢籍データベース 『皆非集』二卷 增「一枝軒吟草」一卷 明 萬達甫 明 萬邦孚 (附) 明 刊 公文書館
	『彙選筮吉指南』	<ul style="list-style-type: none"> ●『明史』卷九十八「志七十四、藝文三、子類、五行類」萬邦孚『彙選筮吉指南』十一卷。『日家指掌』二卷・『通書纂要』六卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十三「五行類」萬邦孚『彙選筮吉指南』十一卷。一作十五卷。又『日家指掌』二卷。又『通書纂要』六卷。字汝永、鄞縣人。累官都督僉事、福建總兵官。 ●清・嵇曾筠撰『浙江通志』(四庫全書本) 卷二四七「經籍七、子部下」『彙選筮吉指南』十一卷。『日家指掌』二卷。『通書纂要』六卷。『黃氏書目』、萬邦孚著、字汝永、寧波人。
	『日家指掌』二卷	●同上 (『明史』・『千頃堂書目』 卷十三・『浙江通志』)
	『通書纂要』六卷	●同上 (『明史』・『千頃堂書目』 卷十三・『浙江通志』)
	『黃氏書目』	●同上 (『浙江通志』)
	『黃氏蒙 [家] 訓』六卷	<ul style="list-style-type: none"> ※同一人物の著作か不明。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』 卷十一「儒家類」萬邦孚『黃氏蒙 [井口注：四庫全書本は家] 訓』六卷。
	『痘疹方論』六卷	<ul style="list-style-type: none"> ※同一人物の著作か不明。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』 卷十四「醫家類」萬邦孚『痘疹方論』六卷。
73: 張可大	<p>(? -1632) 字觀甫、應天人。○世襲南京羽林左衛千戶、萬曆二十九年 (1601) 中武進士、授建昌守備、遷浙江都司僉書、以都指揮使掌南京錦衣衛、擢都督僉事、都督同知。○「可大好多學能詩、敦節行、有儒將風。爲南京錦衣時、歐陽暉由刑部主事謫本衛知事、嘗賦詩有『陰籠國事非』句、揚州知府劉鐸書之扇、贈一僧。惡鐸者譖之魏忠賢、暉・鐸俱被逮。可大約東旋尉、捐奉助之、卜室處其妻子。其尚義類如此」、「弟可仕、字文詩、以字行。隱居博學、嘗輯『明布衣詩』一百卷」(『明史』卷二七〇「列傳一五八、張可大 弟可仕」)。「所至敬禮賢士大夫、投壺雅歌、咸以爲俞・戚再見」、「生平孝友淳重、博學好古、與時賢相贈答、皆海內通人勝流」(清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集中「張都督可大」)。</p>	
	『駛雪齋集』	<ul style="list-style-type: none"> ●清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集中「張都督可大」有『駛雪齋』諸集。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十六「別集類、萬曆」張可大『駛雪齋集』□卷。字觀甫、應天人。萬曆辛丑 (二十九年、1601) 武進士、左軍都督、登州陷死之。贈太子少傅、賜祠額曰旌忠、謚莊節、有『眞州』・『婁江』・『電白』・『舟山』諸稿、「白下」・『牟子』等集。 ●清・陳田輯『明詩紀事』庚籤卷二十四「張可大一首」有『眞州』・『婁江』・『電白』・『舟山』・『白下』・『牟子』・『駛雪齋』等集。
	『眞州集 [稿]』	●同上 (『千頃堂書目』・『明詩紀事』)
	『婁江集 [稿]』	●同上 (『千頃堂書目』・『明詩紀事』)
	『電白集 [稿]』	●同上 (『千頃堂書目』・『明詩紀事』)
	『舟山集 [稿]』	●同上 (『千頃堂書目』・『明詩紀事』)
	『白下集』	●同上 (『千頃堂書目』・『明詩紀事』)
	『牟子集』	●同上 (『千頃堂書目』・『明詩紀事』)

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
	『南京錦衣衛志』二十卷	※同一人物の著作か不明。 ●『明史』卷九十七「志七十三、藝文二、史類、職官類」 張可大『南京錦衣衛志』二十卷。 ●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷九「職官類」 張可大『南京錦衣衛志』二十卷。
	『新鍔葛稚川内篇』四卷・『新鍔葛稚川外篇』四卷	※同一人物の著作か未確認。 ★漢籍データベース 『新鍔葛稚川内篇』四卷『新鍔葛稚川外篇』四卷 晉 葛洪撰 明 張可大等評校 漢魏叢書子餘 前田育徳會
74 邱坦	(萬曆年間) 字長孺、麻城人。／萬曆中武進士、官參將、遼東鎮江遊擊。 ※萬曆四十六年(1618) 致仕(『神宗實錄』卷五七〇〔萬曆四十六年五月〕丙午)。	
	『度遼集』	●清・陳田輯『明詩紀事』庚籤卷二十四「邱坦一首」 有『度遼集』・『楚邱集』・『南北遊草』。
	『楚邱集』	●同上(『明詩紀事』)
	『南北遊草』	●同上(『明詩紀事』)
75 王鳴鶴	(萬曆年間) 字羽卿、淮安人。／湖廣鄖襄守備、湖廣行都司僉書、會試武舉、鎮守廣西總兵官兼都督同知、征蠻將軍、南京右府僉書、總兵官鎮守廣東。 ※『神宗實錄』卷一九二(萬曆十五年〔1587〕十一月) 丙戌～卷四六四(萬曆三十七年〔1609〕十一月) 戊戌に事蹟。	
	『點蒼集』四卷	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十六「別集類、萬曆」 王鳴鶴『點蒼集』四卷。又『西征集』二卷。又『百粵草』□卷。又『緩帶吟』□卷。字羽卿、淮安人。會試武舉、鎮守廣西總兵官兼都督同知、挂征蠻將軍印。
	『西征集』二卷	●同上(『千頃堂書目』)
	『百粵草』	●同上(『千頃堂書目』)
	『緩帶吟』	●同上(『千頃堂書目』) ●明・程可中撰『緩帶吟序』(『程仲權先生文集』卷七「序」) 王大將軍羽卿、一雖篇不踰百、而字溢風霜、卷僅勝軸、而市騰紙價矣。
	『登壇必究』四十卷	●『明史』卷九十八「志七十四、藝文三、子類、兵書類」 王鳴鶴『登壇必究』四十卷。 ★『續修四庫全書』第九六〇～九六一冊『登壇必究』四十卷 明 王鳴鶴 撰 北京大學圖書館藏刊本 ★漢籍データベース 『登壇必究』八十卷『附錄』二卷 明 王鳴鶴 撰 明 袁正忠 校 萬曆中 刊本 蓬左文庫
	『兵法百戰經』二卷	※同一人物の著作か未確認。 ★漢籍データベース 『兵法百戰經』二卷 明 王鳴鶴 輯訂 明 何仲叔 輯 刊本 東洋文庫
	『江防(考)』存一卷	※同一人物の著作か未確認。 ★漢籍データベース 『江防(考)』存一卷 明 王鳴鶴 編 明 袁世忠 等校(明) 刊 妄改竄首題本 東京都立 中央
76 張懋忠	(萬曆～天啓年間?) 字聖標、一字念堂、肥鄉人。／以廕敘錦衣衛官、中萬曆十七年(1589) 武進士、累官都督。 ※『神宗實錄』卷二九九(萬曆二十四年〔1596〕七月) 乙酉～『熹宗實錄』卷六十三(天啓六年〔1626〕二月) 乙未に事蹟。	
	『元聲式道』	●清・陳田輯『明詩紀事』庚籤卷二十四「張懋忠二十首」 有『元聲式道』・『城陰河東』・『疾除』・『樸石旅食』・『庚草雪談』・『索米艾變』・『北道交變』・『益睡放言』・『楚皇仁存柳』等集。 ※書題の区切り方は要再考。
	『城陰河東』	●同上(『明詩紀事』)
	『疾除』	●同上(『明詩紀事』)
	『樸石旅食』	●同上(『明詩紀事』)
	『庚草雪談』	●同上(『明詩紀事』)
	『索米艾變』	●同上(『明詩紀事』)
	『北道交變』	●同上(『明詩紀事』)
	『益睡放言』	●同上(『明詩紀事』)

名前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
	<p>〔楚音皇仁存柳〕</p> <p>〔石鏡山房（増訂）周易說統〕</p> <p>〔石鏡山房四書說統〕三十七卷</p>	<p>●同上（〔明詩紀事〕）</p> <p>★漢籍データベース</p> <p>①〔石鏡山房周易說統〕十二卷 明 張振淵 輯 明 張懋忠 校 明 張師弼 校 萬曆四十三年序 石鏡山房 刊 九大</p> <p>②〔石鏡山房増訂周易說統〕二十五卷 明 張振淵 撰 明 張懋忠 補 天啓七序 刊 東京都立 中央</p> <p>②〔石鏡山房四書說統〕三十七卷 明 張振淵 輯 明 張懋忠 校 明 張師弼 校 明天啓三年序 刊本 東洋文庫</p> <p>★漢籍データベース</p> <p>〔石鏡山房四書說統〕三十七卷 明 張振淵 輯 明 張懋忠 校 明 張師弼 校 明天啓三年序 刊本 東洋文庫</p>
77: 安國賢	<p>（萬曆～天啓年間？）字 字 蓋卿、福州左衛人。／福州左衛應襲指揮使。／「長於聲詩、好義樂施、爲人所重」（〔福建通志〕四庫全書本）卷五十一「文苑」。</p> <p>〔敲音集〕</p> <p>〔白雪集〕</p> <p>〔南澳小記〕十二卷（〔南澳遊小紀〕）</p> <p>〔南日寨小記〕十卷</p>	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十六「別集、萬曆」安國賢「敲音」。又「白雪集」。字蓋卿、福州左衛人。</p> <p>●清・陳田輯『明詩紀事』庚籤卷二十四「安國賢一首」有「敲音」、「白雪」二集。</p> <p>★漢籍データベース ※著者が異なる。同一書か不明。</p> <p>〔敲音集〕四卷 明 王良樞 撰 嘉靖刊 國會圖書館攝製北平圖書館善本書膠片 國會</p> <p>●同上（〔千頃堂書目〕・〔明詩紀事〕）</p> <p>●〔明史〕卷九十七「志七十三、藝文二、史類、地理類」安國賢「南澳小記」十二卷・「南日寨小記」十卷。</p> <p>★漢籍データベース</p> <p>〔南澳遊小紀〕十二卷 明 安國賢 輯 天啓五年序 刊 國會</p> <p>●同上（〔明史〕）</p>
78: 沈有容	<p>（萬曆～天啓年間）字 字 弘、宣城人。僉事沈龍之孫、沈壽崇（崇禎初舉武進士）之父。／舉萬曆七年（1579）武鄉試、昌平千總、僉事浙江都司、遷溫處參將、山東副總兵、登萊都督僉事、充登萊總兵官、贈都督同知。／（〔萬曆〕二十九年（1601）、倭掠諸寨、有容擊敗之。…倭遂去東番、海上息肩者十年）（〔明史〕卷二七〇「列傳一五八、沈有容」）。 ※「神宗實錄」卷四一三（萬曆三十三年〔1605〕九月）丙子～「熹宗實錄」卷四十二（天啓三年〔1623〕十二月）癸巳に事蹟。</p> <p>〔舟師占驗〕</p> <p>〔閩海〕贈言〕六卷</p>	<p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷八「地理類下」沈有容「舟師占驗」。參將。</p> <p>※同一人物の著作か未確認。</p> <p>★『近代中國史料叢刊續編』第五十一輯「贈言」六卷 卽『閩海贈言』明 沈有容 輯 民國四十五年懷思堂景印本</p>
79: 顧大猷	<p>（萬曆～崇禎年間？）字 字 所建、號南湘外史、江都人。夏國公顧成之裔孫。／年二十餘爲勳衛、不一年歸。／「己巳（崇禎二年、1629）之役、兵在城下、奮袂詣關、請獨身赴闕而死」（清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集下「顧勳衛大猷」）。／「十歲學舉子業、十三學詩、十五學古文詞。舒泰與見其舉子業稱之。與諸生負僑聲者數輩爲友」（明・李維禎撰「南湘外史傳」〔「大泌山房集」卷六十九〕。「嘗游秦中、賦詩吊古、留連武功・鄠・杜間、訪問康王（康海）遺伎召置坐中、青衫白髮、歌殘曲、道故事、風流慷慨、長安少年至今傳之」、「著書數千卷、盈箱溢秩、秘不以示人。一旦溘逝、無子、遺書放失、靡有存者」（同上「列朝詩集」）。 ※「熹宗實錄」卷十六（天啓元年〔1621〕十一月）丁巳～卷三十（天啓三年〔1623〕正月）戊午に事蹟。族孫の鎮遠侯顧仕隆（字仲動）も號を持っており（葵齋）、文學的素養のある武臣とみられる。</p> <p>〔鎮遠先獻紀〕二十四卷</p> <p>〔廣陵文獻紀〕百卷</p> <p>〔總卯詩〕一卷</p>	<p>●清・錢謙益輯『列朝詩集』丁集下「顧勳衛大猷」撰「鎮遠先獻紀」〔ママ〕。敘述先人勳績甚備、搜探國朝掌故、條列時政。</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷十「譜系類」顧大猷「鎮遠先獻紀」二十四卷。天啓壬戌（二年、1622）序。</p> <p>★漢籍データベース</p> <p>〔鎮遠先獻紀〕二十四卷 明 顧大猷 撰 天啓二年自序 刊本 京大人文研 東方</p> <p>●明・李維禎撰「南湘外史傳」〔「大泌山房集」卷六十九〕又爲「廣陵文獻紀」百卷、上下數千年前言往行善惡者、所必資也。</p> <p>●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十六「別集類、萬曆」顧大猷「總卯草」一卷。又「廣陵懷古」一卷。字所建、江都人。鎮遠侯〔井口注：侯の誤〕勳衛舍人。</p> <p>●明・李維禎撰「南湘外史傳」〔「大泌山房集」卷六十九〕朱宗伯元介序其「總卯詩」。</p>

名 前	略歴	
	著作・刊本書名	書誌情報
80: 張紀	〔廣陵懷古〕一卷	●同上（『千頃堂書目』）
	（萬曆～崇禎年間？）字齊方，崑山人。張振德之子。／錦衣衛千戶。 ※『嘉宗實錄』卷十七（天啓二年〔1622〕五月）壬子に「贈殉難與文縣知縣張振德光祿寺卿、廕一子錦衣衛正千戶世襲」と見える。 〔槩菴集〕	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十八〔別集類、崇禎〕張紀『槩庵集』。字齊芳，崑山人。振德子。承蔭錦衣衛所千戶、挂冠歸。 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷八十一下〔張紀一首〕有『槩菴集』。
81: 張鹿徵	（萬曆～崇禎年間？）字瑤星、更名怡、亦作遺、號白雲道者、應天人。都督張可大之子。／錦衣衛正千戶。／「以府學生承蔭、歷錦衣衛正千戶。甲申（崇禎十七年、1644）陷賊、不屈受刑、潔身歸隱、居攝山不出、自號白雲道者」（清・朱彝尊編『明詩綜』卷八十一下〔張鹿徵四首〕）。	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十八〔別集類、崇禎〕張鹿徵『古鏡庵詩內外集』。『玉光劍氣集』。字瑤星、後更名怡、亦作遺、應天人。都督可大子。以府學生承蔭、歷錦衣衛正千戶。甲申陷賊、不屈受刑、潔身歸隱、居攝山不出、自號白雲道者。 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷八十一下〔張鹿徵四首〕有『古鏡庵詩內外集』。
	〔古鏡庵詩內外集〕	●同上（『千頃堂書目』）
82: 陸璉	（萬曆～崇禎年間？）字茂瓊、號了緣道人、吳縣人。／兩中武科。	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十八〔別集類、崇禎〕陸璉『楓江遺稿』。字茂瓊、吳縣人。兩中武科。甲申（崇禎十七年、1644）後削髮居蓮子峰下、自號了緣道人。 ●清・朱彝尊編『明詩綜』卷八十一下〔陸璉一首〕有『楓江遺稿』。
	〔楓江遺稿〕	●同上（『千頃堂書目』）
83: 吳惟英	（萬曆～崇禎年間）字國華、蒙古人。第八代恭順侯。／襲恭順侯爵。／「萬曆元年（1573）…余在開日、見恭順侯吳惟英、嘗奉旨詰問京營官、侍經筵」（明・黃景助撰『國史唯疑』卷九〔萬曆〕）。「國華、累業瑣貂、風流獨擅。崇禎中、與鞏都尉永固並留心圖史、與諸朝士極文酒謔游之樂」（清・朱彝尊撰『靜志居詩話』卷十九〔吳惟英字國華襲恭順侯爵有墨響齋集〕）。	●清・黃虞稷撰『千頃堂書目』卷二十八〔別集類、崇禎〕吳惟英『墨響齋集』。字國華、襲恭順侯爵。 ●清・陳田輯『明詩紀事』辛籤卷二十六〔吳惟英二首〕惟英、字國華、蒙古人。先世把都帖木兒嚮化來歸、賜姓名吳允誠、以功封恭順伯。允誠子克忠進爵侯。數傳至惟英、襲恭順侯爵、總督京營戎政。有『墨響齋集』。
	〔墨響齋集〕	●同上（『千頃堂書目』）
	〔東江客問〕一卷	※同一人物の著作か未確認。 ★『明末清初史料選刊』（浙江古籍出版社、排印本、1986年）一『東江疏揭塘報節抄』八卷 增『東江客問』一卷 增『東江遺事』二卷 清毛鉅輯 明東海鶴放道人批 明吳惟英撰『客問』清吳葵撰『遺事』